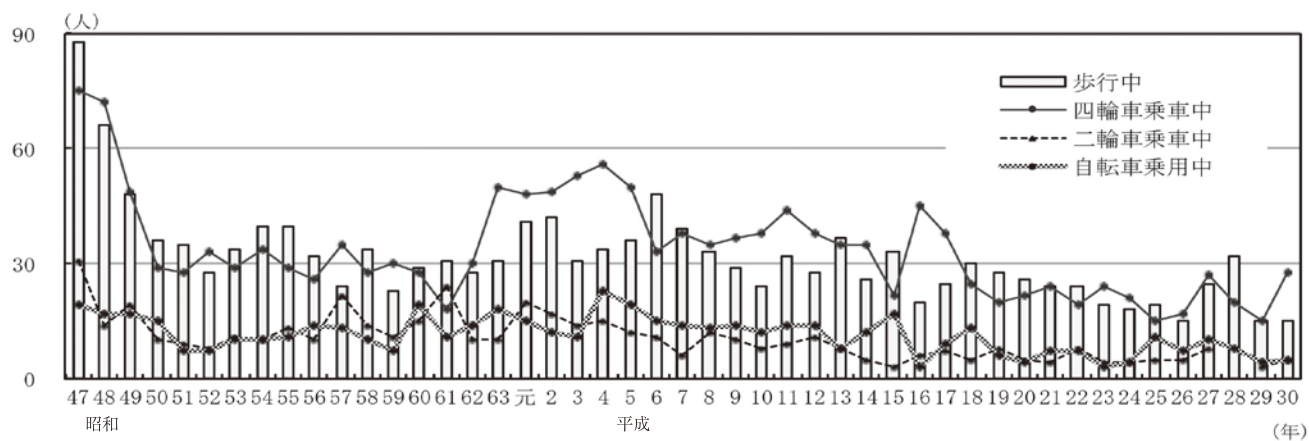


(8) 状態別死者数の推移



	歩 行 中	四輪車乗車中	二輪車乗車中	自転車乗用中	そ の 他	合 計
昭 和 47 年	88	75	31	19		213
〃 48 〃	66	72	14	17		169
〃 49 〃	48	49	19	17		133
〃 50 〃	36	29	10	15		90
〃 51 〃	35	28	9	7		79
〃 52 〃	28	33	8	7		76
〃 53 〃	34	29	11	10		84
〃 54 〃	40	34	10	10		94
〃 55 〃	40	29	13	11		93
〃 56 〃	32	26	10	14		82
〃 57 〃	24	35	22	13	1	95
〃 58 〃	34	28	14	10		86
〃 59 〃	23	30	11	7		71
〃 60 〃	29	28	15	19		91
〃 61 〃	31	18	24	11	1	85
〃 62 〃	28	30	10	14		82
〃 63 〃	31	50	10	18	1	110
平 成 元 〃	41	48	20	15	1	125
〃 2 〃	42	49	17	12		120
〃 3 〃	31	53	14	11		109
〃 4 〃	34	56	15	23		128
〃 5 〃	36	50	12	19		117
〃 6 〃	48	33	11	15		107
〃 7 〃	39	38	6	14		97
〃 8 〃	33	35	12	13		93
〃 9 〃	29	37	10	14		90
〃 10 〃	24	38	8	12		82
〃 11 〃	32	44	9	14		99
〃 12 〃	28	38	11	14	1	92
〃 13 〃	37	35	8	8		88
〃 14 〃	26	35	5	12		78
〃 15 〃	33	22	3	17		75
〃 16 〃	20	45	6	3		74
〃 17 〃	25	38	7	9		79
〃 18 〃	30	25	5	13		73
〃 19 〃	28	20	8	6	1	63
〃 20 〃	26	22	5	4	1	58
〃 21 〃	24	24	4	7		59
〃 22 〃	24	19	8	7		58
〃 23 〃	19	24	4	3		50
〃 24 〃	18	21	4	4		47
〃 25 〃	19	15	5	11	3	53
〃 26 〃	15	17	5	7		44
〃 27 〃	25	27	8	10		70
〃 28 〃	32	20		8		60
〃 29 〃	15	15	3	4		37
〃 30 〃	15	28	5	5	1	54

2 2 「24時間経過後30日以内」の交通事故死者の状況

(1) 概 況

区 分	平成30年	平成29年	増 減 数	増減率(%)	全 国
30 日 死 者	4	7	-3	-42.9	633 人
24時間死者	54	37	17	45.9	3,532 人
30日以内死者	58	44	14	31.8	4,165 人
指 数	107	119			118

注：1 「30日死者」とは、交通事故発生から24時間経過後30日以内に交通事故が原因で死亡した者をいう。

2 「24時間死者」とは、交通事故発生から24時間以内に交通事故が原因で死亡した者をいう。

3 「30日以内死者」とは、「30日死者」と「24時間死者」の合計をいう。

4 「指数」は、「24時間死者」に対する「30日以内死者」の割合で、「30日以内死者」を「24時間死者」で除したものの。

(2) 30日死者の特徴

ア 年齢層別では、「高齢者」が4人中2人(50.0%)と半数を占める。

イ 状態別では、「歩行中」が2人(50.0%)と最も多く、次いで「四輪車運転中」及び「自転車乗用中」が各1人(25.0%)の順となっている。

(3) 30日死者の分析

ア 年齢層別・状態別死者数

状態別 年齢層別	歩行中	四 輪 車		二 輪 車		自転車 乗用中	その他	合 計	構成率(%)
		運転中	同乗中	運転中	同乗中				
15歳以下									
若 者	1							1	25.0
高 齢 者	1					1		2	50.0
そ の 他		1						1	25.0
合 計	2	1				1		4	100.0

注：年齢層別の「若者」は16歳～24歳、「その他」は25歳～64歳である。

イ 年齢層別・状態別・死亡経過日数別死者数

死亡経過日数別 年齢層別・状態別		24時間～4日		5～10日		11～30日		合 計	構成率(%)
		死者数	構成率(%)	死者数	構成率(%)	死者数	構成率(%)		
15歳以下	歩行中・自転車乗用中								
	車 両 乗 車 中								
若 者	歩行中・自転車乗用中	1	50.0					1	25.0
	車 両 乗 車 中								
高 齢 者	歩行中・自転車乗用中			1	100.0	1	100.0	2	50.0
	車 両 乗 車 中								
そ の 他	歩行中・自転車乗用中								
	車 両 乗 車 中	1	50.0					1	25.0
合 計		2	50.0	1	25.0	1	25.0	4	100.0

注：年齢層別の「若者」は16歳～24歳、「その他」は25歳～64歳である。

四輪車乗車中30日死者のシートベルト着用状況	非着用・不明	着 用	合 計
	1 (100.0%)	(%)	1 (100.0%)

2 3 歩行者事故

(1) 概 況

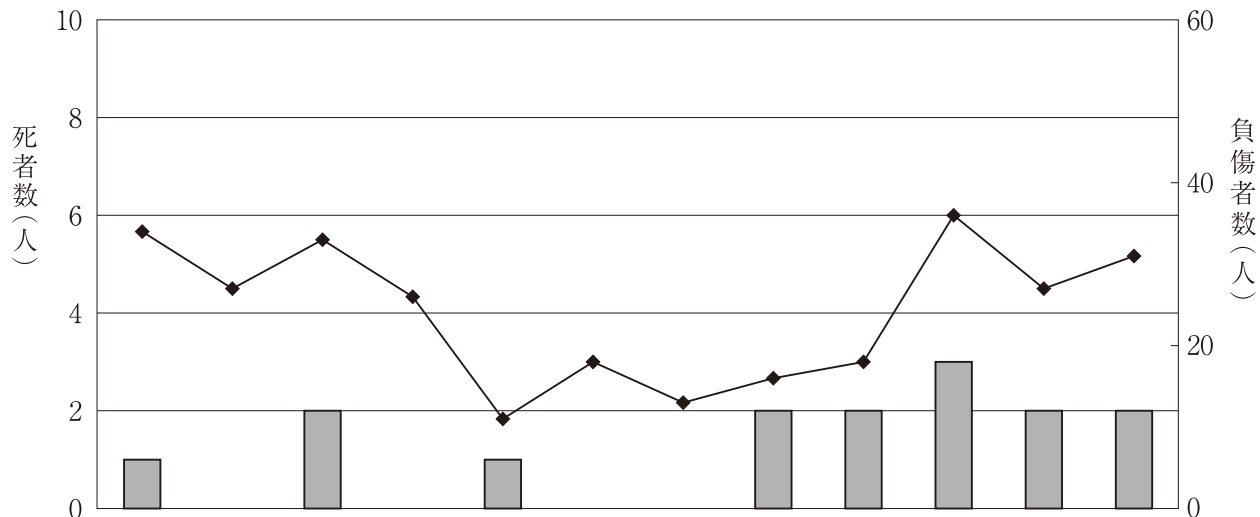
- ・ 歩行者事故は、発生件数291件(10.3%)、死者数15人(27.8%)、負傷者数290人(8.8%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は42件(12.6%)、負傷者数は38人(11.6%)減少し、死者数は前年と同じであった。

年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	歩行者	全事故	構成率(%)	歩行者	全事故	構成率(%)	歩行者	全事故	構成率(%)
平成 30 年	291	2,839	10.3	15	54	27.8	290	3,300	8.8
平成 29 年	333	3,238	10.3	15	37	40.5	328	3,769	8.7
増 減 数	-42	-399		0	17		-38	-469	
増 減 率 (%)	-12.6	-12.3		0.0	45.9		-11.6	-12.4	

注：1 件数は、第1当事者又は第2当事者が歩行者及び準歩行者(電動車椅子等)の事故件数を計上した。
 2 死者数及び負傷者数は、死傷した歩行者及び準歩行者(電動車椅子等)を計上した。

(2) 月別発生状況

- ・ 発生件数では、「10月」が36件(12.4%)と最も多い。
- ・ 死者数では、「10月」が3人(20.0%)と最も多い。
- ・ 負傷者数では、「10月」が36人(12.4%)と最も多く、次いで「1月」が34人(11.7%)、「3月」が33人(11.4%)の順となっている。



月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数	34	25	32	25	12	18	13	17	20	36	27	32	291
死 者 数	1		2		1			2	2	3	2	2	15
負 傷 者 数	34	27	33	26	11	18	13	16	18	36	27	31	290
死 傷 者 数	35	27	35	26	12	18	13	18	20	39	29	33	305
件数の構成率(%)	11.7	8.6	11.0	8.6	4.1	6.2	4.5	5.8	6.9	12.4	9.3	11.0	100.0

(3) 道路形状別件数

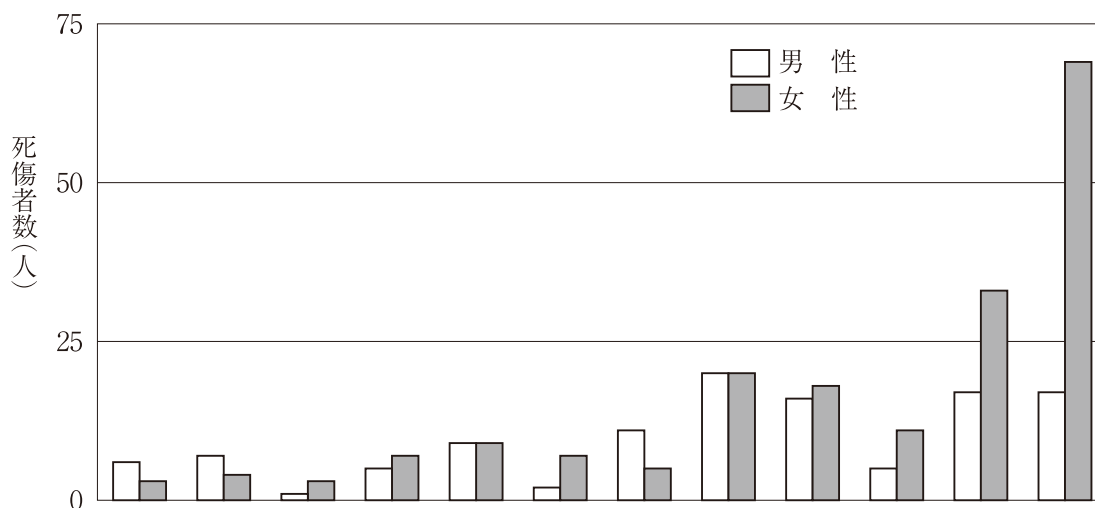
- 道路形状別では、「交差点内」が140件(48.1%)と最も多く、次いで「単路・その他」が127件(43.6%)、「交差点付近」が24件(8.2%)の順となっている。

道路形状	交 差 点						単 路 ・ そ の 他			合 計
	交 差 点 内			交 差 点 付 近						
		うち信号機あり	信号機ありの割合 (%)		うち信号機あり	信号機ありの割合 (%)		うち信号機あり	信号機ありの割合 (%)	
件数	(5)	(1)	(20.0)	(7)	(2)	(28.6)	(3)	(0)	(0.0)	(15)
	140	92	65.7	24	5	20.8	127	1	0.8	291
構成率 (%)	48.1	31.6		8.2	1.7		43.6	0.3		100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

(4) 年齢層別・性別・昼夜別死傷者数

- 死傷者数は、年齢層別では、「高齢者」が136人(44.6%)と最も多く、次いで「40～49歳」が40人(13.1%)、「50～59歳」が34人(11.1%)の順となっている。
- 性別では、「男性」116人(38.0%)、「女性」189人(62.0%)と「女性」が多く、特に「高齢者」で顕著である。
- 死者数は、性別では「女性」9人(60.0%)が、昼夜別では「夜間」10人(66.7%)が、年齢層別では「高齢者」11人(73.3%)が最も多く、「75歳以上の高齢者」(9人)が6割を占める。



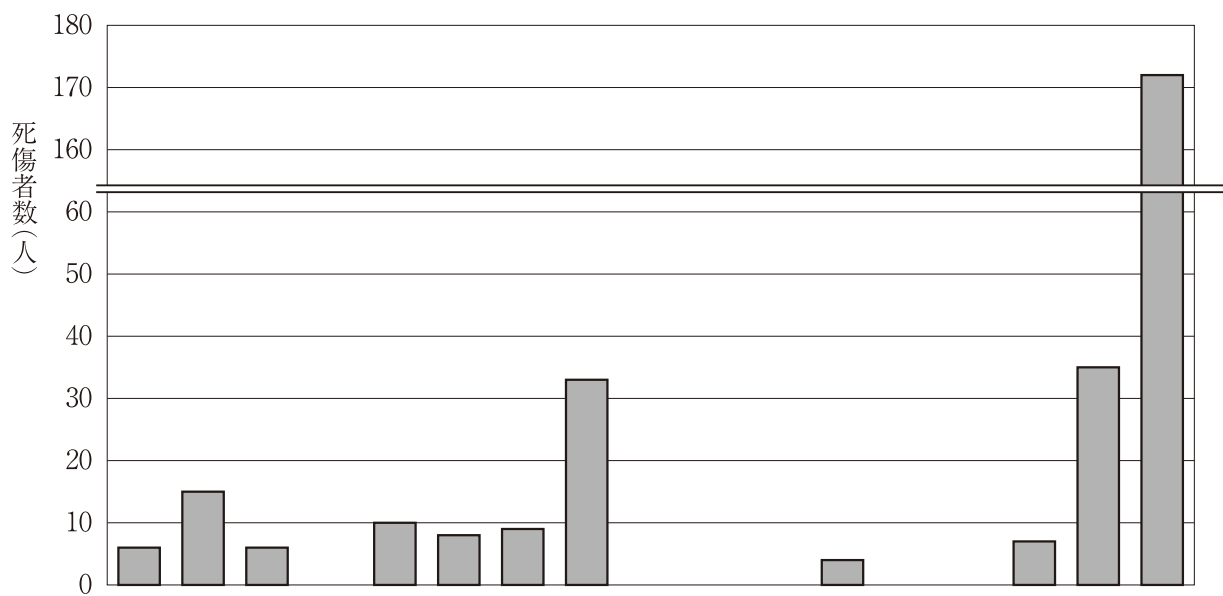
年齢層別・性別・昼夜別	幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	除高小若生者	25歳以下	30歳以下	40歳以下	50歳以下	60歳以下	高 齢 者		小 計	合 計	夜間事故の反射材着用率(%)
											65歳以下	75歳以上			
男 性	(1) 6	7	1	5	9	2	11	20	(1) 16	(1) 5	(1) 17	(2) 17	(3) 34	(6) 116	4.9
女 性	3	4	3	7	9	7	5	20	18	(1) 11	(1) 33	(7) 69	(8) 102	(9) 189	
合 計	(1) 9	11	4	12	18	9	16	40	(1) 34	(2) 16	(2) 50	(9) 86	(11) 136	(15) 305	
構成率(%)	3.0	3.6	1.3	3.9	5.9	3.0	5.2	13.1	11.1	5.2	16.4	28.2	44.6	100.0	
昼 間	7	9	3	7	5	5	10	16	10	(1) 8	30	(4) 51	(4) 81	(5) 161	
夜 間	(1) 2	2	1	5	13	4	6	24	(1) 24	(1) 8	(2) 20	(5) 35	(7) 55	(10) 144	
夜間構成率(%)	22.2	18.2	25.0	41.7	72.2	44.4	37.5	60.0	70.6	50.0	40.0	40.7	40.4	47.2	

注：1 ()内は、死者数(内数)である。

2 「若者」は、中学生及び高校生以外の15歳以下を含む。

(5) 違反別死傷者数

- ・ 違反別では、「走行車両の直前・直後の横断」が33人(10.8%)と最も多く、次いで「左側通行」が15人(4.9%)、「横断歩道外横断」が10人(3.3%)の順となっている。



年別		違反別	信号無視	左側通行	車道通行	その他の通行区分	横断歩道外横断	斜め横断	駐停車両の横断	走行車両の直前・直後の横断	場所の横断禁止	幼児のひとり歩き	踏切不注意	寝てい・はいかい・そべり等	路上遊戯	路上作業	飛出し	その他	違反3等	違反なし等	合計
平成30年	死者数			1			1			6				2				2	3		15
	負傷者数		6	14	6		9	8	9	27				2			7	33	169		290
	合計		6	15	6		10	8	9	33				4			7	35	172		305
	構成率(%)		2.0	4.9	2.0		3.3	2.6	3.0	10.8				1.3			2.3	11.5	56.4		100.0
平成29年	死者数		1		3		1	1		2								1	6		15
	負傷者数		5	12	1		12	4	8	39		1					12	31	203		328
	合計		6	12	4		13	5	8	41		1					12	32	209		343
	構成率(%)		1.7	3.5	1.2		3.8	1.5	2.3	12.0		0.3					3.5	9.3	60.9		100.0

2 4 自転車事故

(1) 概 況

- ・ 自転車事故は、発生件数290件(10.2%)、死者数5人(9.3%)、負傷者数285人(8.6%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は92件(24.1%)、負傷者数は92人(24.4%)減少し、死者数は1人(25.0%)増加した。

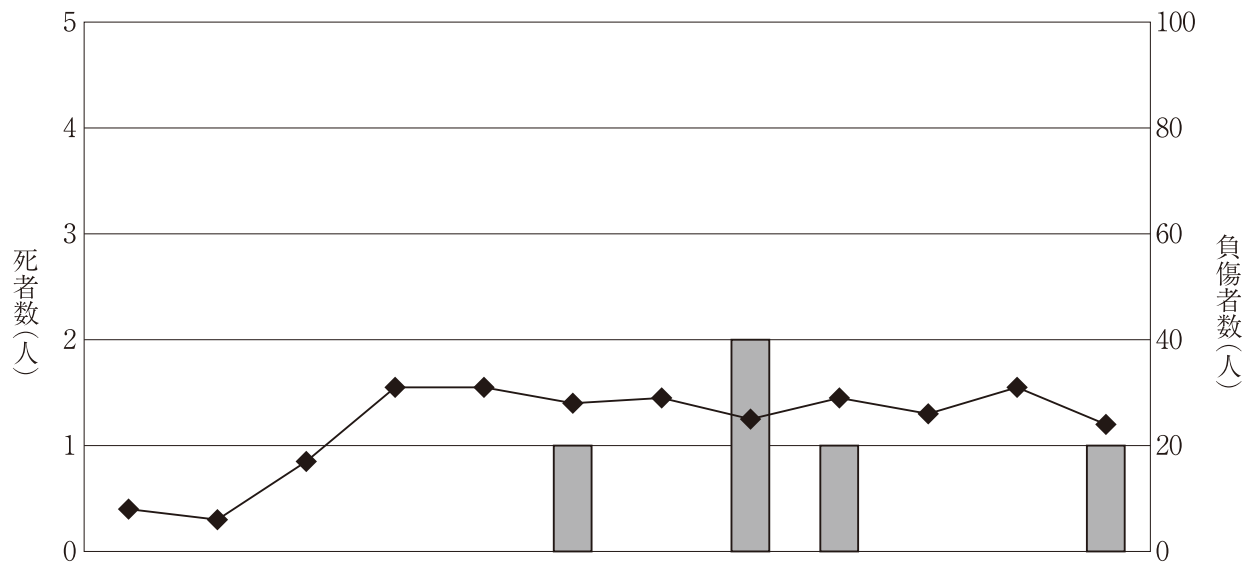
年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	自転車	全事故	構成率(%)	自転車	全事故	構成率(%)	自転車	全事故	構成率(%)
平成30年	290	2,839	10.2	5	54	9.3	285	3,300	8.6
平成29年	382	3,238	11.8	4	37	10.8	377	3,769	10.0
増減数	-92	-399		1	17		-92	-469	
増減率(%)	-24.1	-12.3		25.0	45.9		-24.4	-12.4	

注：1 件数は、自転車が第1当事者又は第2当事者の事故件数を計上した。

2 死者数及び負傷者数は、自転車乗用中(同乗を含む)の死傷者数を計上した。

(2) 月別発生状況

- ・ 発生件数では、「4月」、「5月」、「9月」及び「11月」が各31件(10.7%)と最も多く、次いで「6月」が30件(10.3%)の順となっている。
- ・ 死者数は、「8月」に2人(40.0%)、「6月」、「9月」及び「12月」に各1人(20.0%)であった。
- ・ 負傷者数では、「4月」、「5月」及び「11月」が各31人(10.9%)と最も多く、「2月」が6人(2.1%)と最も少ない。



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	7	7	17	31	31	30	28	27	31	25	31	25	290
死者数						1		2	1			1	5
負傷者数	8	6	17	31	31	28	29	25	29	26	31	24	285
死傷者数	8	6	17	31	31	29	29	27	30	26	31	25	290
件数の構成率(%)	2.4	2.4	5.9	10.7	10.7	10.3	9.7	9.3	10.7	8.6	10.7	8.6	100.0

(3) 道路形状別件数

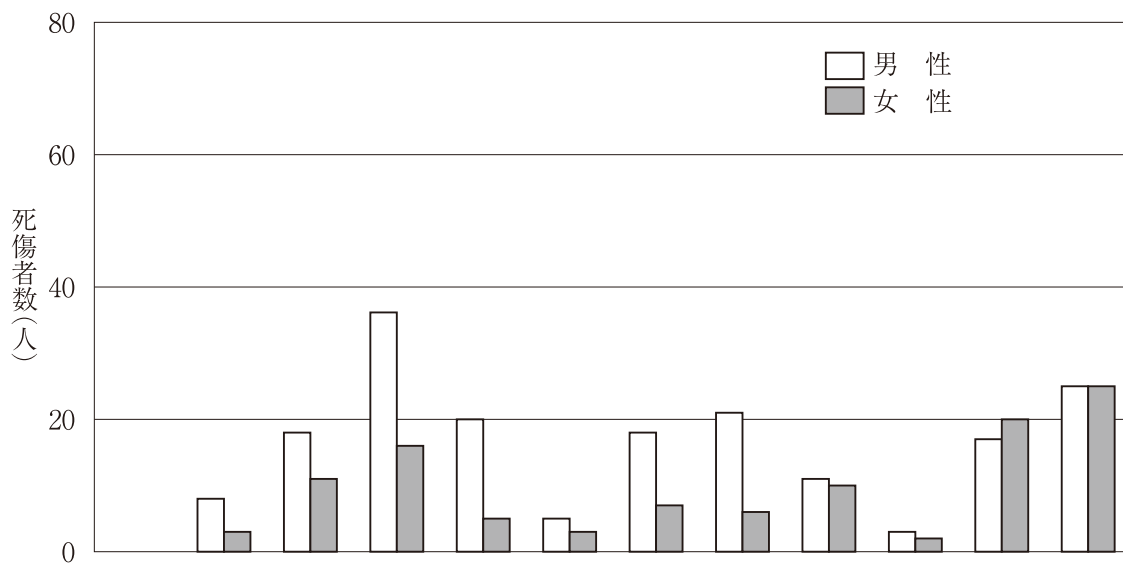
- 道路形状別では、「交差点内」が203件(70.0%)と最も多く、次いで「単路・その他」が79件(27.2%)、「交差点付近」が8件(2.8%)の順となっている。

道路形状	交 差 点						単路・その他			合 計
	交 差 点 内			交 差 点 付 近						
		うち信号機あり	信号機ありの割合(%)		うち信号機あり	信号機ありの割合(%)		うち信号機あり	信号機ありの割合(%)	
件数	(1) 203	(0) 69	(0.0) 34.0	(1) 8	(0) 1	(0.0) 12.5	(3) 79	(0) 0	(0.0) 0.0	(5) 290
構成率(%)	70.0	23.8		2.8	0.3		27.2			100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

(4) 年齢層別・性別死傷者数

- 死者数は、5人すべて「高齢者」の「男性」で、年齢層別では、「75歳以上」が3人(60.0%)と最も多い。
- 死傷者数は、年齢層別では、「高齢者」が87人(30.0%)と最も多く、次いで「高校生」が52人(17.9%)、「中学生」が29人(10.0%)の順となっている。
- 性別では、「男性」182人(62.8%)、「女性」108人(37.2%)となっており、64歳以下では「男性」が多い。



年齢層別 性別	幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	除高 校若 者を	25 歳 以下	30 歳 以下	40 歳 以下	50 歳 以下	60 歳 以下	高 齢 者			合 計
											65 歳 以下	75 歳 以上	小 計	
男 性		8	18	36	20	5	18	21	11	3	(2) 17	(3) 25	(5) 42	(5) 182
女 性		3	11	16	5	3	7	6	10	2	20	25	45	108
合 計		11	29	52	25	8	25	27	21	5	(2) 37	(3) 50	(5) 87	(5) 290
構成率(%)		3.8	10.0	17.9	8.6	2.8	8.6	9.3	7.2	1.7	12.8	17.2	30.0	100.0

注：1 ()内は、死者数(内数)である。

2 「若者」は、中学生及び高校生以外の15歳以下を含む。

(5) 違反別・年齢層別死傷者数

- ・ 違反別では、「その他安全運転義務違反」が92人(31.7%)と最も多く、次いで「安全不確認」が82人(28.3%)、「交差点安全進行義務違反」が49人(16.9%)の順となっている。
- ・ 「違反なし」は21人(7.2%)であり、全体の約9割に何らかの違反が見受けられる。

違反別 年齢層別	死傷者数	構成率(%)	幼児	小学生	中学生	高校生	若者	25 ～ 29歳	30 ～ 39歳	40 ～ 49歳	50 ～ 59歳	60 ～ 64歳	高齢者		小計
													65 ～ 74歳	75歳以上	
信号無視	2	0.7				1	1								
通行区分	7	2.4		1						2				4	4
横断・転回・後退禁止違反	1	0.3					1								
車間距離不保持															
通行妨害															
踏切不停止等	1	0.3												1	1
右・左折違反	1	0.3				1									
優先通行妨害等	5	1.7			2	1						1	1		1
交差点安全進行義務違反	(1) 49	16.9		1	2	11	8	1	6	3	1	1	6	(1) 9	(1) 15
徐行場所違反	5	1.7			1	4									
指定場所一時不停止等	22	7.6		2	3	4	2	1	1		2		3	4	7
灯火違反(無灯火等)															
自転車の通行方法違反															
酒酔い運転															
安全不確認	82	28.3		4	9	15	6	3	9	7	5		5	19	24
その他安全運転義務違反	(2) 92	31.7		2	11	14	5	3	8	12	9	3	(1) 17	(1) 8	(2) 25
その他	(1) 2	0.7											(1) 2		(1) 2
違反なし・第3当事者等	(1) 21	7.2		1	1	1	2		1	3	4		3	(1) 5	(1) 8
合計	(5) 290	100.0		11	29	52	25	8	25	27	21	5	(2) 37	(3) 50	(5) 87

注：()内は、死者数(内数)である。

2 5 二輪車事故

(1) 概 況

- ・ 二輪車事故は、発生件数71件(2.5%)、死者数5人(9.3%)、負傷者数69人(2.1%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は16件(18.4%)、負傷者数は11人(13.8%)減少し、死者数は2人増加した。

年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	二 輪	全事故	構成率(%)	二 輪	全事故	構成率(%)	二 輪	全事故	構成率(%)
平成 30 年	71	2,839	2.5	5	54	9.3	69	3,300	2.1
平成 29 年	87	3,238	2.7	3	37	8.1	80	3,769	2.1
増 減 数	-16	-399		2	17		-11	-469	
増 減 率 (%)	-18.4	-12.3		66.7	45.9		-13.8	-12.4	

注：1 件数は、二輪車が第1当事者又は第2当事者の事故件数を計上した。

2 死者数及び負傷者数は、二輪車に乗車又は同乗中の死傷者数を計上した。

(2) 事故類型別件数

- ・ 「車両相互」が63件(88.7%)と最も多く、次いで「車両単独」が6件(8.5%)の順となっている。

	人対車両	自転車対車両	車両相互	車両単独	合計
平成 30 年	2		(3) 63	(2) 6	(5) 71
構成率(%)	2.8		(60.0) 88.7	(40.0) 8.5	(100.0) 100.0
平成 29 年	2	2	(1) 76	(2) 7	(3) 87
構成率(%)	2.3	2.3	(33.3) 87.4	(66.7) 8.0	(100.0) 100.0
増 減 数	0	-2	(2) -13	(0) -1	(2) -16
増 減 率 (%)	0.0	-100.0	(200.0) -17.1	(0.0) -14.3	(66.7) -18.4

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

(3) 違反別件数

- ・ 違反別では、「交差点安全進行義務違反」が16件(22.2%)と最も多く、次いで「動静不注視」及び「安全不確認」が各10件(13.9%)の順となっている。
- ・ 第1当の「追越し違反」の構成率(12.5%)が、全事故第1当違反構成率(0.2%)に比べて著しく高い。

違反別	第 1 当		第 2 当		合 計		全事故第1当 違反構成率(%)
	件 数	構成率(%)	件 数	構成率(%)	件 数	構成率(%)	
信号無視	1	4.2			1	1.4	4.5
通行区分							1.4
最高速度違反	(1) 2	8.3			(1) 2	2.8	0.1
追越し違反	3	12.5			3	4.2	0.2
右・左折違反							0.4
優先通行妨害等	1	4.2			1	1.4	4.0
交差点安全進行義務違反	1	4.2	(1) 15	31.3	(1) 16	22.2	2.7
歩行者妨害等							3.5
横断自転車妨害等							
徐行場所違反							0.6
指定場所一時不停止等	4	16.7			4	5.6	12.5
安全運転義務違反	ハンドル等操作不適	(1) 2			(1) 2	2.8	7.3
	前方不注意	3	1	2.1	4	5.6	24.6
	動静不注視		10	20.8	10	13.9	14.4
	安全不確認	2	8	16.7	10	13.9	17.0
	その他		3	6.3	3	4.2	3.1
その他	(1) 5	20.8	(1) 1	2.1	(2) 6	8.3	3.5
違反なし			10	20.8	10	13.9	
合 計	(3) 24	100.0	(2) 48	100.0	(5) 72	100.0	100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

(4) 第1当事者の年齢層別・車種別件数

- ・ 年齢層別では、「25～64歳」が12件(50.0%)と最も多く、次いで「高齢者」が6件(25.0%)の順となっている。
- ・ 原付では、「高齢者」が6件(60.0%)と最も多い。

区 分	合 計		自動二輪車		原 付	
	(うち死者数)	構成率(%)	(うち死者数)	構成率(%)	(うち死者数)	構成率(%)
19 歳 以 下	4	16.7	3	21.4	1	10.0
20 ～ 24歳	(1) 2	8.3	(1) 1	7.1	1	10.0
25 ～ 64歳	(2) 12	50.0	(2) 10	71.4	2	20.0
高 齢 者	6	25.0			6	60.0
65～74歳	4	16.7			4	40.0
75歳以上	2	8.3			2	20.0
合 計	(3) 24	100.0	(3) 14	100.0	10	100.0

(5) 年齢層別・車種別死傷者数

- ・ 年齢層別では、「25～64歳」が42人(56.8%)と最も多く、次いで「高齢者」が15人(20.3%)の順となっている。
- ・ 自動二輪車では「25～64歳」が38人(73.1%)、原付では「高齢者」が14人(63.6%)と、それぞれ最も多い。

区 分	合 計		自動二輪車		原 付	
	(うち死者数)	構成率(%)	(うち死者数)	構成率(%)	(うち死者数)	構成率(%)
19 歳 以 下	13	17.6	9	17.3	4	18.2
20 ～ 24歳	(1) 4	5.4	(1) 4	7.7		
25 ～ 64歳	(4) 42	56.8	(4) 38	73.1	4	18.2
高 齢 者	15	20.3	1	1.9	14	63.6
65～74歳	9	12.2	1	1.9	8	36.4
75歳以上	6	8.1			6	27.3
合 計	(5) 74	100.0	(5) 52	100.0	22	100.0

(6) 死傷者のヘルメット着用状況

- ・ ヘルメット着用率は、91.9%(74人中68人)となっている。

区 分 乗車別		第1当の死傷者			第2当の死傷者			第3当の死傷者			合 計		
		うち 着用	着用率 (%)		うち 着用	着用率 (%)		うち 着用	着用率 (%)		うち 着用	着用率 (%)	
自動二輪車	小型二輪車 (251cc～)	8	8	100.0	15	14	93.3	2	2	100.0	25	24	96.0
	軽二輪車 (126～250cc)	4	3	75.0	14	13	92.9	3	1	33.3	21	17	81.0
	原付二種 (51～125cc)	1	1	100.0	5	5	100.0				6	6	100.0
原 付		8	7	87.5	14	14	100.0				22	21	95.5
合 計		21	19	90.5	48	46	95.8	5	3	60.0	74	68	91.9

注：1 着用率 = $\frac{(\text{着 用})}{(\text{着 用}) + (\text{非着用})} \times 100$

2 同乗者を含む。着用不明は非着用とした。

2 6 子供（中学生以下）の事故

(1) 概 況

- ・ 子供の事故は、発生件数63件(2.2%)、死者数1人(1.9%)、負傷者数112人(3.4%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は39件(38.2%)、負傷者数は46人(29.1%)減少し、死者数は1人増加した。

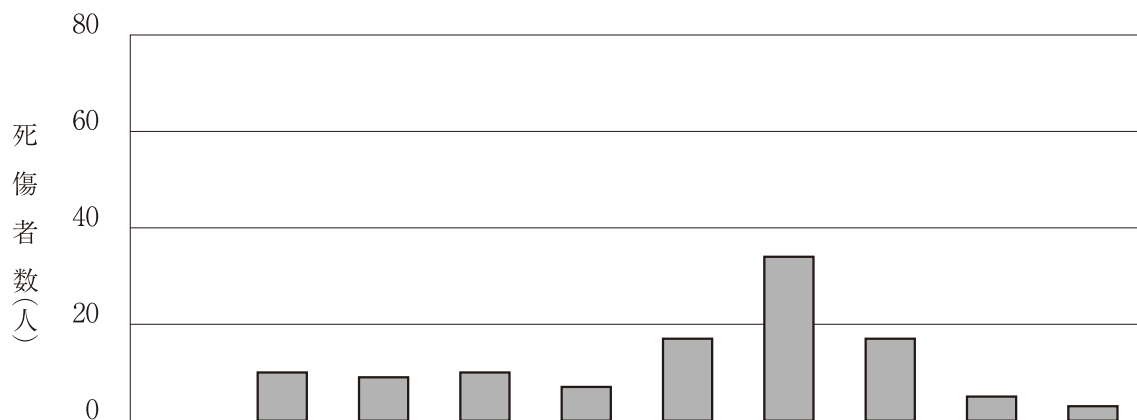
年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	子供	全事故	構成率(%)	子供	全事故	構成率(%)	子供	全事故	構成率(%)
平成30年	63	2,839	2.2	1	54	1.9	112	3,300	3.4
平成29年	102	3,238	3.2		37	0.0	158	3,769	4.2
増減数	-39	-399		1	17		-46	-469	
増減率(%)	-38.2	-12.3		---	45.9		-29.1	-12.4	

注：1 件数は、子供が第1当事者又は第2当事者の事故件数を計上した。

2 死者数及び負傷者数は、子供の死傷者数を計上した。

(2) 時間別死傷者数

- ・ 死傷者の時間別では、「16時～」が34人(30.1%)と最も多く、次いで「18時～」が18人(15.9%)、「14時～」が17人(15.0%)の順となっている。

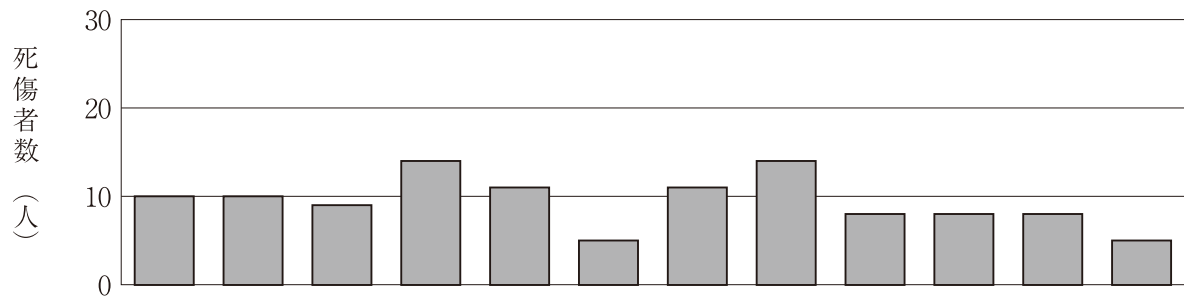


時間別		0時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	合計
区分		)	)	)	)	)	)	)	)	)	)	
死者数									1			1
負傷者数			10	9	10	7	17	34	17	5	3	112
未就園児				2		2	2					6
就園児				2	3	1	3	5	(1) 3			(1) 17
小学生	1年				3		2	1	2			8
	2年			1		2		2	1			6
	3年		2	1				3	2		1	9
	4年			1			3	2		1		7
	5年		1			1	1					3
	6年		1	1	1			3	1		1	8
中学生	1年		2				1	8	2	2	1	16
	2年		2		1	1	2	4	4			14
	3年		2	1	2		3	6	3	2		19
合計			10	9	10	7	17	34	(1) 18	5	3	(1) 113
構成率(%)			8.8	8.0	8.8	6.2	15.0	30.1	15.9	4.4	2.7	100.0

注：()内は、死者数(内数)である。

(3) 月別・状態別死傷者数

- ・「4月」及び「8月」が各14人(12.4%)と最も多く、次いで「5月」及び「7月」が各11人(9.7%)の順となっている。



区分 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
歩 行 中	1	2	(1) 2	3	4	2	2	4	1	1	1	1	(1) 24
自転車乗用中		1	2	7	2	2	5	5	6	3	4	3	40
四輪乗車中	9	7	5	4	5	1	4	5	1	4	3	1	49
二輪乗車中													
そ の 他													
合 計	10	10	(1) 9	14	11	5	11	14	8	8	8	5	(1) 113
構 成 率 (%)	8.8	8.8	8.0	12.4	9.7	4.4	9.7	12.4	7.1	7.1	7.1	4.4	100.0

注：()内は、死者数(内数)である。

(4) 自転車乗用中の学年別・状態別・ヘルメット着用別死傷者数

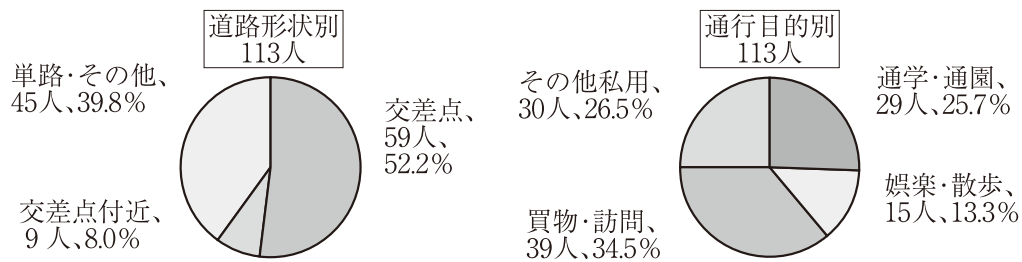
- ・自転車乗用中の死傷者の学年別では、「中学3年生」が14人(35.0%、ヘルメット着用率35.7%)と最も多く、次いで「中学1年生」が8人(20.0%、ヘルメット着用率62.5%)の順となっている。
- ・自転車乗用中死傷者のヘルメット着用率では、小学生が63.6%、中学生が44.8%であった。

学年別 区分		幼 児		小 学 生						中 学 生			合 計
		未就園児	就園児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
運 転	着 用					2	3	1	1	5	3	5	20
	非着用					3		1		3	4	9	20
同 乗	着 用												
	非着用												
合 計	着 用					2	3	1	1	5	3	5	20
	非着用					3		1		3	4	9	20
						5	3	2	1	8	7	14	40
構成率(%)						12.5	7.5	5.0	2.5	20.0	17.5	35.0	100.0
着用率(%)						40.0	100.0	50.0	100.0	62.5	42.9	35.7	50.0

注：()内は、死者数(内数)である。

(5) 道路形状別・通行目的別死傷者数

- ・ 道路形状別では、「交差点」が59人(52.2%)と最も多い。
- ・ 通行目的別では、「買物・訪問」が39人(34.5%)と最も多い。



(6) 違反別死傷者数

- ・ 歩行中の死傷者の違反別では、「飛出し」が7人(29.2%)と最も多く、次いで「駐(停)車車両の直前・直後の横断」が3人(12.5%)の順となっている。
- ・ 自転車乗用中の死傷者の違反別では、「安全運転義務違反」が26人(65.0%)と最も多く、次いで「指定場所一時不停止等」が5人(12.5%)の順となっている。

違反別		死 傷 者 数	全 体 構成率(%)		死傷者数(人)
			事故形態中構成率		
歩行者事故	飛 出 し	7	29.2	6.2	■
	走行車両の直前・直後の横断	(1) 2	8.3	1.8	■
	路 上 遊 戯				
	駐(停)車車両の直前・直後の横断	3	12.5	2.7	■
	横断歩道外横断	1	4.2	0.9	■
	幼児のひとり歩き				
	信 号 無 視	1	4.2	0.9	■
	斜 め 横 断				
	そ の 他	3	12.5	2.7	■
	違 反 な し	6	25.0	5.3	■
	第 3 当	1	4.2	0.9	■
小 計		(1) 24	100.0	21.2	
自転車事故	徐 行 場 所 違 反	1	2.5	0.9	■
	指定場所一時不停止等	5	12.5	4.4	■
	安全運転義務違反	26	65.0	23.0	■
	自転車の通行方法				
	通 行 区 分	1	2.5	0.9	■
	交差点安全進行義務違反	3	7.5	2.7	■
	信 号 無 視				
	そ の 他	2	5.0	1.8	■
	違 反 な し	1	2.5	0.9	■
	第 3 当	1	2.5	0.9	■
小 計		40	100.0	35.4	
その他の人(路外、店舗内等)					
車 両	運 転 中				
	同 乗 中	49	100.0	43.4	■
	小 計	49	100.0	43.4	
合 計		(1) 113		100.0	

注：()内は、死者数(内数)である。

2 7 高校生の事故

(1) 概 況

- ・ 高校生が第1当事者となった事故は、発生件数14件、負傷者数14人で、死者はなかった。
- ・ 件数は増加し、負傷者数は減少、死者数は前年と同じであった。

年別 \ 区分	件 数	全件数	構成率(%)	死者数	全死者数	構成率(%)	負傷者数	全負傷者数	構成率(%)
平成30年	14	2,839	0.5		54		14	3,300	0.4
平成29年	13	3,238	0.4		37		15	3,769	0.4
増 減 数	1	-399			17		-1	-469	
増 減 率 (%)	7.7	-12.3			45.9		-6.7	-12.4	

注：1 件数は、高校生が第1当事者となった事故件数を計上した。
 2 死者数及び負傷者数は、その事故による死傷者数を計上した。

(2) 月別・状態別死傷者数

- ・ 死傷した高校生の人数は、月別では「9月」が10人(12.8%)と最も多く、次いで「4月」及び「5月」が各9人(11.5%)の順となっている。

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
四輪車・二輪車運転中													
〃 同乗中	1		2	2	2		2	1	2		2		14
自転車乗用中			5	6	7	5	5	4	7	4	5	4	52
歩 行 中	4	3		1					1	1	1	1	12
そ の 他													
合 計	5	3	7	9	9	5	7	5	10	5	8	5	78

注：()内は、死者数(内数)である。

(3) 状態別死傷者数

- ・ 死傷者の状態別では、「自転車乗用中」が52人(66.7%)と著しく多い。
- ・ 前年に比べ、「歩行中」が最も増加(11人)し、「自転車乗用中」が最も減少(29人)した。

区 分		平成30年						平成29年					
		死者数		負傷者数		死傷者数		死者数		負傷者数		死傷者数	
		人 数	構成率(%)	人 数	構成率(%)	人 数	構成率(%)	人 数	構成率(%)	人 数	構成率(%)	人 数	構成率(%)
四輪車	運 転 中									1	0.9	1	0.9
	同 乗 中			13	16.7	13	16.7			25	23.1	25	23.1
二輪車運転・同乗中				1	1.3	1	1.3						
自転車乗用中				52	66.7	52	66.7			81	75.0	81	75.0
歩 行 中				12	15.4	12	15.4			1	0.9	1	0.9
そ の 他													
合 計				78	100.0	78	100.0			108	100.0	108	100.0

(4) 違反別件数

- ・ 第1当事者では、「指定場所一時不停止等」が4件(28.6%)と最も多い。
- ・ 第2当事者では、「違反なし」が6件(10.9%)、「違反あり」の49件(89.1%)では「安全不確認」、「動静不注視」及び「交差点安全進行義務違反」が多い。

区分 違反別		第 1 当			第 2 当			合 計			全事故 第 1 当の 構成率(%)	
		件数	う ち 自転車	件数の 構成率 (%)	件数	う ち 自転車	件数の 構成率 (%)	件数	う ち 自転車	件数の 構成率 (%)		
車	信 号 無 視	1	1	7.1				1	1	1.4	4.5	
	通 行 区 分										1.4	
	最 高 速 度 違 反										0.1	
	右・左 折 違 反				1	1	1.8	1	1	1.4	0.4	
	交 差 点 安 全 進 行 義 務 違 反	1	1	7.1	10	10	18.2	11	11	15.9	2.7	
	徐 行 場 所 違 反				4	4	7.3	4	4	5.8	0.6	
	指 定 場 所 一 時 不 停 止 等	4	4	28.6				4	4	5.8	12.5	
	自 転 車 の 通 行 方 法 違 反										0.0	
両 等	安 全 運 転 義 務 違 反	ハンドル等操作不適	1		7.1			1		1.4	7.3	
		前方不注意	2	1	14.3	1	1	1.8	3	2	4.3	24.6
		動静不注視				11	11	20.0	11	11	15.9	14.4
		安全不確認	2	2	14.3	14	14	25.5	16	16	23.2	17.0
		安 全 速 度				1	1	1.8	1	1	1.4	1.9
		予 測 不 適				1	1	1.8	1	1	1.4	0.4
		そ の 他										0.8
	そ の 他	2	1	14.3	1		1.8	3	1	4.3	10.9	
	違 反 な し				1	1	1.8	1	1	1.4		
	小 計	13	10	92.9	45	44	81.8	58	54	84.1	99.6	
歩行者	違 反 あ り	1		7.1	5		9.1	6		8.7	0.4	
	違 反 な し				5		9.1	5		7.2		
合 計		14	10	100.0	55	44	100.0	69	54	100.0	100.0	

(5) 第1当事者の車種別件数

- ・ 車種別では、「自転車」が10件(71.4%)と最も多い。

区分 車種別	平成 30 年	
	件 数	構成率(%)
四 輪 車	3	21.4
原 付		
その他二輪車		
自 転 車	10	71.4
歩 行 者	1	7.1
合 計	14	100.0

2 8 高齢者（65歳以上）の事故

(1) 概 況

- ・ 高齢者の事故は、発生件数1,052件(37.1%)、死者数35人(64.8%)、負傷者数624人(18.9%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数及び負傷者数は減少したが、死者数は著しく増加した。

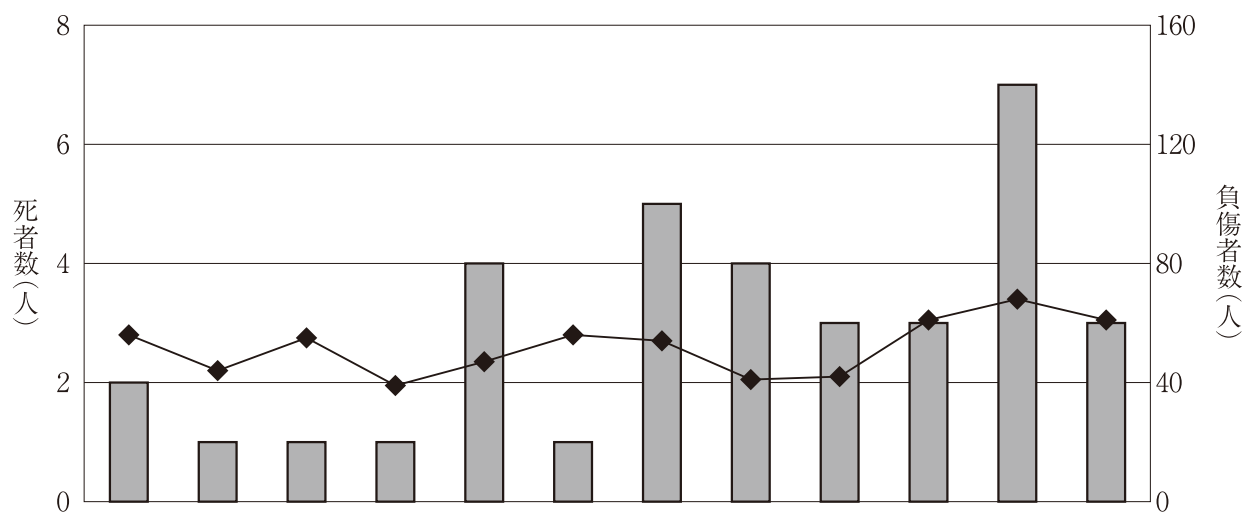
区分 年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	高齢者	全事故	構成率(%)	高齢者	全事故	構成率(%)	高齢者	全事故	構成率(%)
平成 30 年	1,052	2,839	37.1	35	54	64.8	624	3,300	18.9
平成 29 年	1,204	3,238	37.2	23	37	62.2	696	3,769	18.5
増 減 数	-152	-399		12	17		-72	-469	
増 減 率 (%)	-12.6	-12.3		52.2	45.9		-10.3	-12.4	

注：1 件数は、高齢者が第1当事者又は第2当事者の事故件数を計上した。

2 死者数及び負傷者数は、高齢者の死傷者数を計上した。

(2) 月別発生状況

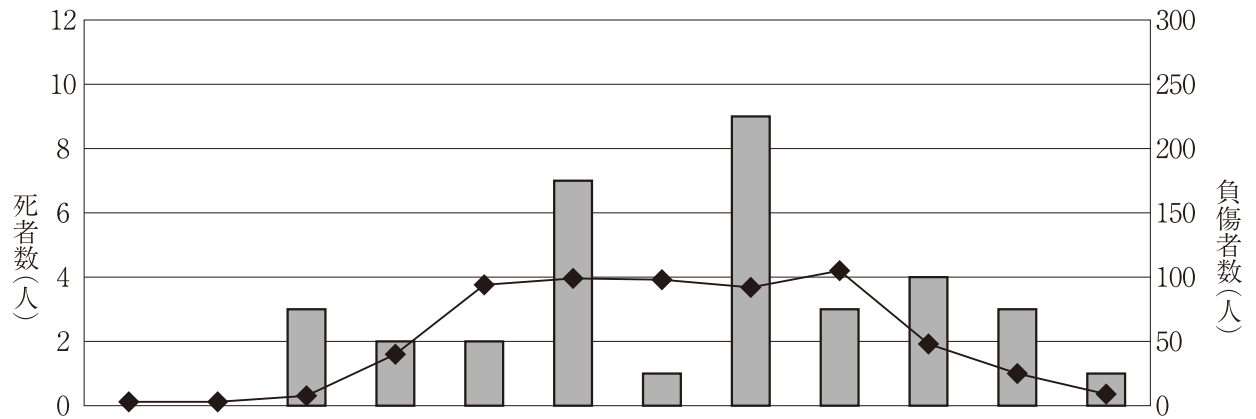
- ・ 発生件数は、「1月」が107件(10.2%)と最も多く、次いで「11月」が106件(10.1%)、「12月」が105件(10.0%)の順となっている。
- ・ 死者数は、「11月」が7人(20.0%)と最も多く、死者のない月はなかった。
- ・ 負傷者数は、「11月」が68人(10.9%)と最も多く、「4月」が39人(6.3%)と最も少ない。



区分 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数	107	85	84	73	74	80	94	73	78	93	106	105	1,052
死 者 数	2	1	1	1	4	1	5	4	3	3	7	3	35
負 傷 者 数	56	44	55	39	47	56	54	41	42	61	68	61	624
死 傷 者 数	58	45	56	40	51	57	59	45	45	64	75	64	659
件 数 の 構 成 率 (%)	10.2	8.1	8.0	6.9	7.0	7.6	8.9	6.9	7.4	8.8	10.1	10.0	100.0

(3) 時間別死傷者数

- ・ 死者数は、「14時～」が9人(25.7%)と最も多く、次いで「10時～」が7人(20.0%)の順となっている。
- ・ 負傷者数は、「16時～」が105人(16.8%)と最も多く、次いで「10時～」が99人(15.9%)、「12時～」が98人(15.7%)の順となっている。



時間別 区分	0時 ～	2時 ～	4時 ～	6時 ～	8時 ～	10時 ～	12時 ～	14時 ～	16時 ～	18時 ～	20時 ～	22時 ～	合計
死 者 数			3	2	2	7	1	9	3	4	3	1	35
負 傷 者 数	3	3	8	40	94	99	98	92	105	48	25	9	624
死 傷 者 数	3	3	11	42	96	106	99	101	108	52	28	10	659
構 成 率 (%)	0.5	0.5	1.7	6.4	14.6	16.1	15.0	15.3	16.4	7.9	4.2	1.5	100.0

(4) 車種別死傷者数

- ・ 64歳以下と構成率を比べると、「軽四貨物車」が9.7ポイント、「軽四乗用車」が5.8ポイント高い。

車種別		死 傷 者 数			構成率(%)	64歳以下の 構 成 率(%)
		65～74歳	75歳以上	合 計		
乗 用 車	大 型	3	2	5	1.1	0.5
	中 型		1	1	0.2	0.0
	準 中 型					0.0
	普 通	(1) 106	(5) 44	(6) 150	34.5	50.6
	軽 四	(2) 129	(4) 59	(6) 188	43.2	37.4
	計	(3) 238	(9) 106	(12) 344	79.1	88.5
貨 物 車	大 型					0.2
	中 型					0.6
	準 中 型	1		1	0.2	1.1
	普 通	(1) 11	5	(1) 16	3.7	3.2
	軽 四	(4) 32	(1) 27	(5) 59	13.6	3.9
	計	(5) 44	(1) 32	(6) 76	17.5	8.9
一 輪 車	自 動 二 輪	1		1	0.2	2.2
	原 付	8	6	14	3.2	0.3
	計	9	6	15	3.4	2.5
特 殊 用 途 車						0.0
合 計		(8) 291	(10) 144	(18) 435	100.0	100.0

注：()内は、死者数(内数)である。

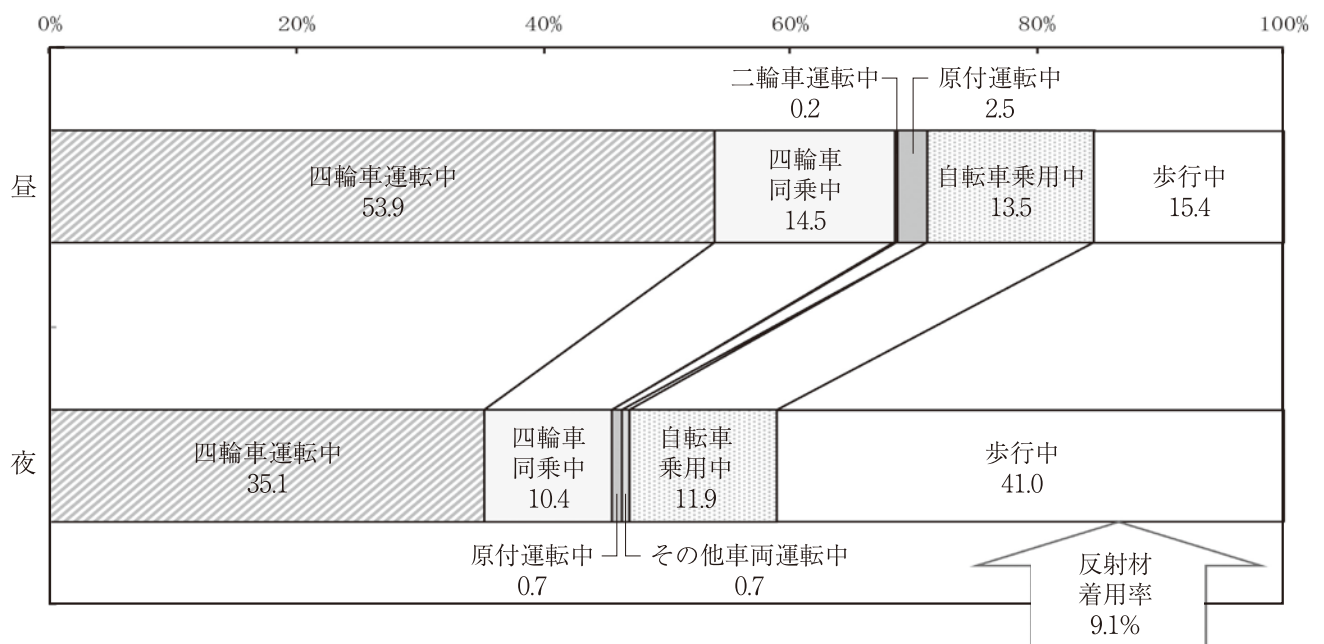
(5) 状態別・性別・年齢層別・昼夜別死傷者数

- ・ 死傷者の状態別では、「四輪車運転中」が330人(50.1%)と最も多く、次いで「歩行中」が136人(20.6%)、「四輪車同乗中」が90人(13.7%)、「自転車運転中」が87人(13.2%)の順となっている。
- ・ 死者の状態別では、「四輪車運転中」が13人(37.1%)と最も多く、次いで「歩行中」が11人(31.4%)の順となっている。

性別 状態別		男女計	男 性			女 性		
			65～74歳	75歳以上	計	65～74歳	75歳以上	計
運 転 中	四 輪 車	(13) 330	(5) 114	(5) 69	(10) 183	(1) 120	(2) 27	(3) 147
	二 輪 車	1	1		1			
	原 付	14	4	3	7	4	3	7
	自 転 車	(5) 87	(2) 17	(3) 25	(5) 42	20	25	45
	その他車両	(1) 1					(1) 1	(1) 1
	計	(19) 433	(7) 136	(8) 97	(15) 233	(1) 144	(3) 56	(4) 200
同 乗 中	四 輪 車	(5) 90	(1) 10	(1) 11	(2) 21	(1) 38	(2) 31	(3) 69
	二 輪 車							
	原 付							
	自 転 車							
	計	(5) 90	(1) 10	(1) 11	(2) 21	(1) 38	(2) 31	(3) 69
歩 行 中		(11) 136	(1) 17	(2) 17	(3) 34	(1) 33	(7) 69	(8) 102
そ の 他								
合 計		(35) 659	(9) 163	(11) 125	(20) 288	(3) 215	(12) 156	(15) 371

注1：()内は、死者数(内数)である。

注2：「その他車両」には、運搬用一輪車を計上した。



(6) 違反別死傷者数

- ・ 死傷者の違反別では、「交差点安全進行義務違反」が84人(12.7%)、「安全不確認(前方・左右・後方)」が44人(6.7%)の順となっている。
- ・ 高齢者側にも何らかの違反のあるケースが328人(49.8%)となっており、死者の違反では、歩行者の「走行車両の直前・直後の横断」が5人(14.3%)と最も多い。

区分	当事者別 違反別		高 齢 死 傷 者 の 違 反				構成率 (%)	
			計	第1当	第2当	第3当		
車 両 等	信 号 無 視		(1) 12	(1) 8	4		1.8	
	通 行 区 分		(2) 7	(2) 3	4		1.1	
	優 先 通 行 妨 害 等		5	5			0.8	
	交 差 点 安 全 進 行 義 務 違 反		(2) 84	(1) 1	(1) 83		12.7	
	徐 行 場 所 違 反		6	1	5		0.9	
	指 定 場 所 一 時 不 停 止 等		(1) 22	(1) 21	1		3.3	
	自 転 車 の 通 行 方 法 違 反							
	酒 酔 い 運 転							
	安全 運転 義務 違反	ハ ン ド ル 等 操 作 不 適		(3) 5	(3) 5			0.8
		前 方 不 注 意 (漫 然・脇 見)		(1) 14	(1) 5	9		2.1
		動 静 不 注 視		34	1	33		5.2
		安全不確認 (前方・左右・後方)		44	7	37		6.7
		そ の 他		(1) 9	(1) 4	5		1.4
	そ の 他		(6) 20	(6) 19	1		3.0	
	違 反 な し		(2) 155		(2) 155		23.5	
	第 3 当 事 者 等		(5) 106			(5) 106	16.1	
	計			(24) 523	(16) 80	(3) 337	(5) 106	79.4
歩 行 者	信 号 無 視		4	4			0.6	
	通 行 区 分		(1) 10		(1) 10		1.5	
	横 断	横 断 歩 道 外 横 断・斜め横断	(1) 9		(1) 9		1.4	
		走行車両の直前・直後の横断	(5) 23		(5) 23		3.5	
		そ の 他	2		2		0.3	
	そ の 他		(1) 18		(1) 18		2.7	
	違 反 な し		(3) 65		(3) 65		9.9	
	第 3 当 事 者 等		5			5	0.8	
	計			(11) 136	4	(11) 127	5	20.6
そ の 他 の 人 (路 外、店 舗 内 等)								
合 計			(35) 659	(16) 84	(14) 464	(5) 111	100.0	

注：1 ()内は、死者数(内数)である。

2 車両等には、「軽車両・その他」(運搬用一輪車)を含む。

(7) 市町村別発生状況

- ・ 高齢死傷者数は、「富山市」が231人(35.1%)と最も多い。
- ・ 高齢死者数は、「富山市」が9人(25.7%)と最も多く、次いで「高岡市」及び「南砺市」が各5人(14.3%)の順となっている。
- ・ 高齢者人口千人当たりの死傷者数は、「立山町」が32人と最も多く、次いで「滑川市」が30人、「砺波市」が27人の順となっている。

市町村別 区分	富山市	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	合計
高速道路以外 での死傷者数	(9) 231	(5) 119	(3) 29	(2) 23	(2) 29	(1) 29	(2) 39	(1) 26	(5) 42	(3) 43		(1) 4	(1) 26		1	(35) 656
高速道路での 死傷者数								1	2							3
合計	(9) 231	(5) 119	(3) 29	(2) 23	(2) 29	(1) 29	(2) 39	(1) 27	(5) 44	(3) 43		(1) 4	(1) 26		1	(35) 659
構成率(%)	35.1	18.1	4.4	3.5	4.4	4.4	5.9	4.1	6.7	6.5		0.6	3.9	2.3	0.2	100.0
高齢者人口千人 当たり死傷者数	1.9	2.2	2.0	1.3	3.0	2.3	2.7	2.4	2.2	1.6		0.6	3.2	1.7	0.2	2.0

注：1 ()は、死者数(内数)である。

2 「高齢者人口千人当たり死傷者数」は、各市町村の高速道路以外での死傷者数と当該市町村の平成30年10月1日現在の65歳以上人口をもとに算出したもの。

2 9 高齢（65歳以上）ドライバーの事故

(1) 概 況

- ・ 高齢ドライバーの事故は、発生件数671件(23.6%)、死者数20人(37.0%)、負傷者数788人(23.9%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は124件(15.6%)、負傷者数は137人(14.8%)減少したが、死者数は11人(122.2%)増加した。

区分 年別	件 数	全件数	構成率(%)	死者数	全死者数	構成率(%)	負傷者数	全負傷者数	構成率(%)
平成30年	671	2,839	23.6	20	54	37.0	788	3,300	23.9
平成29年	795	3,238	24.6	9	37	24.3	925	3,769	24.5
増 減 数	-124	-399		11	17		-137	-469	
増 減 率 (%)	-15.6	-12.3		122.2	45.9		-14.8	-12.4	

注： 件数は、第1当事者(第1種原動機付自転車以上)が高齢者(65歳以上)による事故で、死者数及び負傷者数は、その事故による死傷者数をいう。

(2) 月別発生状況

- ・ 件数は「12月」が71件(10.6%)と最も多く、死者数は「5月」及び「11月」が各5人(25.0%)と最も多い。

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
件 数	(1) 64	53	47	49	(5) 46	51	(4) 63	(2) 47	(1) 49	(2) 61	(4) 70	71	(19) 671
死 者 数	1				5		4	2	1	2	5		20
負傷者数	72	63	58	58	57	60	76	58	58	72	79	77	788

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。本頁において以下同じ。

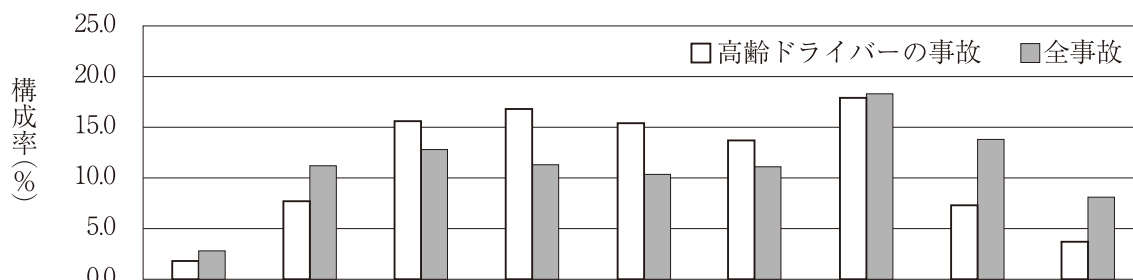
(3) 事故類型別発生状況

- ・ 事故類型別では、「車両相互」が482件(71.8%)と最も多い。
- ・ 年齢層別では、「65歳～74歳」が件数、死亡事故とも「75歳以上」を上回る。

事故類型別 区分	人対車両	自転車対車両	車両相互	車両単独	列 車	合 計
件 数	(5) 89	75	(5) 482	(9) 25		(19) 671
65歳～74歳	(5) 63	50	(2) 301	(5) 16		(12) 430
75歳以上	26	25	(3) 181	(4) 9		(7) 241
構 成 率 (%)	13.3	11.2	71.8	3.7		100.0
全事故構成率(%)	10.3	9.8	77.6	2.4	0.0	100.0

(4) 時間別発生状況

- ・ 「16時～」が120件(17.9%)と最も多く、次いで「10時～」が113件(16.8%)の順となっており、8時から16時までの構成率は全事故構成率を上回っている。
- ・ 死亡事故は、「14時～」が7件(36.8%)と最も多い。



時間別 区分	0時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	合 計
件 数	(2) 12	(1) 52	(1) 105	(4) 113	103	(7) 92	(1) 120	(2) 49	(1) 25	(19) 671
構 成 率 (%)	1.8	7.7	15.6	16.8	15.4	13.7	17.9	7.3	3.7	100.0
全事故構成率(%)	3.2	11.3	14.2	10.3	10.7	10.8	18.7	12.8	7.9	100.0

(5) 車種別発生状況

- ・ 64歳以下と構成率を比べると、「軽四貨物車」が10.6ポイント、「軽四乗用車」が1.4ポイント高くなっている。
- ・ 死亡事故では、「普通乗用車」及び「軽四貨物車」が各6件(31.6%)と多い。

区分 車種等		件 数			死者数	負傷者数	件 数 の 構 成 率 (%)	64歳以下の 構 成 率 (%)
		65～74歳	75歳以上	計				
乗 用 車	大 型	1		1		1	0.1	0.4
	中 型	3	2	5		10	0.7	0.0
	準 中 型							0.0
	普 通	(1) 188	(5) 99	(6) 287	6	334	42.8	50.7
	軽 四	(4) 148	(1) 90	(5) 238	6	281	35.5	34.1
計		(5) 340	(6) 191	(11) 531	12	626	79.1	85.3
貨 物 車	大 型	1		1		2	0.1	1.9
	中 型	5	1	6		8	0.9	1.5
	準 中 型	4	2	6		7	0.9	1.9
	普 通	(2) 17	3	(2) 20	2	23	3.0	4.4
	軽 四	(5) 58	(1) 40	(6) 98	6	113	14.6	4.0
計		(7) 85	(1) 46	(8) 131	8	153	19.5	13.7
二 輪 車	自 動 二 輪							0.7
	原 付	4	2	6		6	0.9	0.2
計		4	2	6		6	0.9	0.9
特 殊 用 途 車		1	2	3		3	0.4	0.2
合 計		(12) 430	(7) 241	(19) 671	20	788	100.0	100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

(6) 違反別発生状況

- ・ 64歳以下と構成率を比べると、「指定場所一時不停止等」が6.5ポイント、「安全不確認(前方・左右・後方)」が3.2ポイント高くなっている。

区分 違反別		件 数			構 成 率 (%)	64歳以下の 構 成 率 (%)
		65～74歳	75歳以上	計		
信 号 無 視		(1) 27	10	(1) 37	5.5	4.2
通 行 区 分		(1) 9	(1) 5	(2) 14	2.1	1.2
優 先 通 行 妨 害 等		15	(1) 13	(1) 28	4.2	3.9
交差点安全進行義務違反		11	15	26	3.9	2.3
徐 行 場 所 違 反		4	1	5	0.7	0.6
指定場所一時不停止等		70	44	114	17.0	10.5
歩 行 者 妨 害 等		(1) 21	13	(1) 34	5.1	3.1
酒 酔 い 運 転						0.0
義安 務全 違運	ハンドル等操作不適	26	(1) 18	(1) 44	6.6	7.6
	前方不注意(漫然・脇見)	(5) 91	41	(5) 132	19.7	26.9
	動 静 不 注 視	41	17	58	8.6	16.8
	安全不確認(前方・左右・後方)	84	49	133	19.8	16.6
反 転		9	(1) 4	(1) 13	1.9	3.5
そ の 他		(4) 22	(3) 11	(7) 33	4.9	3.0
合 計		(12) 430	(7) 241	(19) 671	100.0	100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

30 若者（16～24歳）ドライバーの事故

- (1) 概況
- ・ 若者ドライバーの事故は、発生件数406件(14.3%)、死者数5人(9.3%)、負傷者数477人(14.5%)であった。
 - ・ 前年に比べ、件数は104件(20.4%)、負傷者数は125人(20.8%)減少し、死者数は前年と同じであった。

年別	区分	件数	全件数	構成率(%)	死者数	全死者数	構成率(%)	負傷者数	全負傷者数	構成率(%)
平成30年		406	2,839	14.3	5	54	9.3	477	3,300	14.5
平成29年		510	3,238	15.8	5	37	13.5	602	3,769	16.0
増減数		-104	-399		0	17		-125	-469	
増減率(%)		-20.4	-12.3		0.0	45.9		-20.8	-12.4	

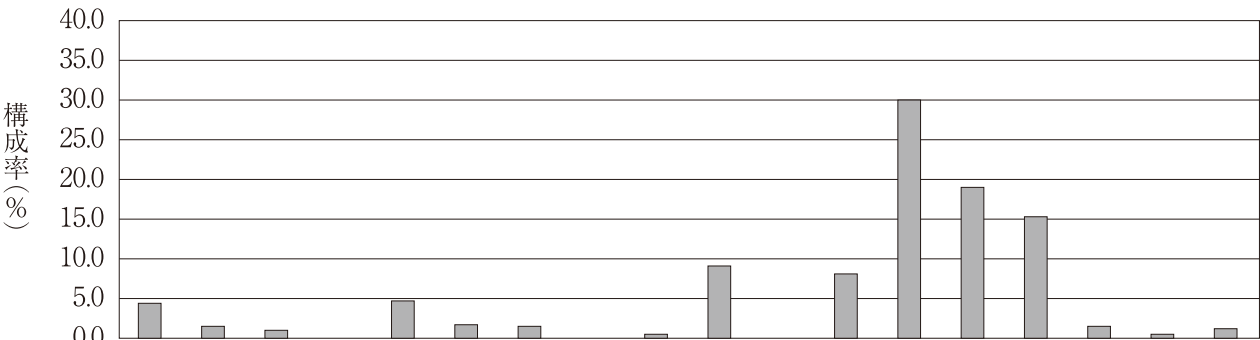
注：件数は、第1当事者(第1種原動機付自転車以上)が若者(16～24歳)による事故で、死者数及び負傷者数は、その事故による死傷者数をいう。

- (2) 事故類型別状況
- ・ 事故類型別では、「車両相互」が364件(89.7%)と最も多く、次いで「自転車対車両」が17件(4.2%)の順となっている。
 - ・ 全事故の構成率に比べ、「車両相互」が12.1ポイント高く、「人対車両」が6.4ポイント低い。

事故類型別	人対車両	自転車対車両	車両相互	車両単独	列車	計
区分						
件数	16	17	(2) 364	(3) 9		(5) 406
構成率(%)	3.9	4.2	89.7	2.2		100.0
全事故構成率(%)	10.3	9.8	77.6	2.4	0.0	100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

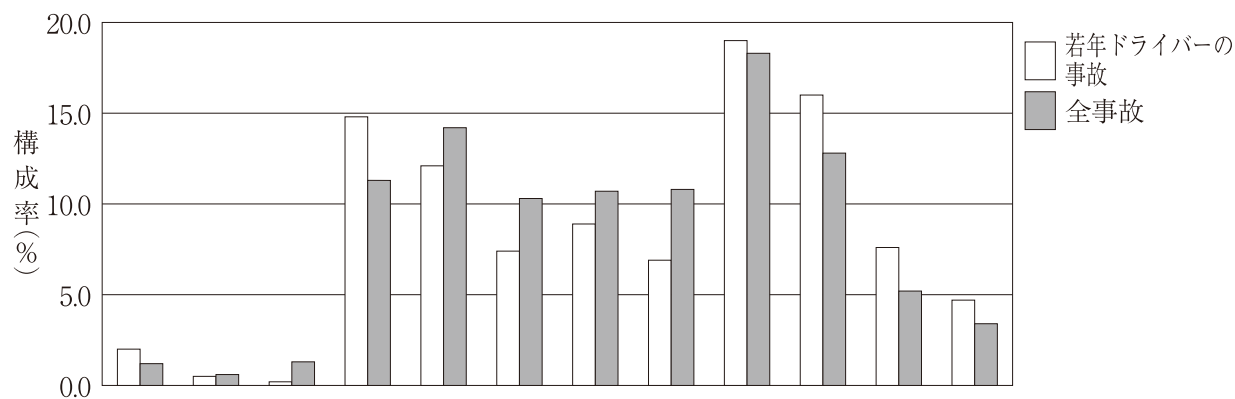
- (3) 違反別件数
- ・ 違反別では、「前方不注意」が122件(30.0%)と最も多く、次いで「動静不注視」が77件(19.0%)、「安全不確認」が62件(15.3%)の順となっている
 - ・ 全事故の構成率と比べると、「前方不注意」が5.4ポイント高くなっている。



違反別	信号無視	通行区分	最高速度違反	右左折違反	優先通行妨害等	義務点安全進行	歩行者妨害等	妨害断等車	徐行場所違反	指定場所一時停止等	酒酔い運転	安全運転義務違反						その他	合計
												安全運転	前方不注意	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他		
件数	18	(1) 6	(3) 4		19	7	6		2	37		(1) 33	122	77	62	6	2	5	(5) 406
構成率(%)	4.4	1.5	1.0		4.7	1.7	1.5		0.5	9.1		8.1	30.0	19.0	15.3	1.5	0.5	1.2	100.0
全事故構成率(%)	4.5	1.4	0.1	0.4	4.0	2.7	3.5		0.6	12.5		7.3	24.6	14.4	17.0	1.9	1.2	3.8	100.0

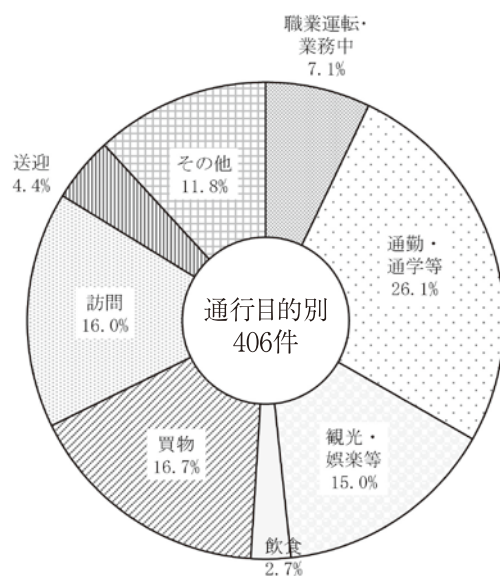
(4) 時間別・通行目的別件数

- ・ 発生時間別では、「16時～」が77件(19.0%)と最も多く、次いで「18時～」が65件(16.0%)、「6時～」が60件(14.8%)の順となっている。
- ・ 通行目的では、「通勤・通学等」が106件(26.1%)と最も多く、次いで「買物」が68件(16.7%)、「訪問」が65件(16.0%)の順となっている。
- ・ 全事故の構成率に比べ、「観光・娯楽等」が5.2ポイント高くなっている。



時間別 通行目的別	0時)	2時)	4時)	6時)	8時)	10時)	12時)	14時)	16時)	18時)	20時)	22時)	合 計	構成率 (%)	全事故 構成率 (%)
職業運転・業務中	1			2	8	3	3	3	7	1		1	29	7.1	13.3
通勤・通学等	1			35	22	4	6	1	15	15	4	3	106	26.1	21.1
観光・娯楽等	(1) 3	1		5	(1) 6	5	5	(1) 4	10	12	7	3	(3) 61	15.0	9.8
飲 食				1		1	2	2	2	1	1	1	11	2.7	2.3
買 物	1		1	1	3	11	10	6	14	12	8	1	68	16.7	18.7
訪 問	(1) 1			9	3	5	(1) 3	8	17	8	7	4	(2) 65	16.0	15.0
送 迎	1	1		1	4	1	2	1	1	2	1	3	18	4.4	5.0
そ の 他				6	3		5	3	11	14	3	3	48	11.8	14.8
合 計	(2) 8	2	1	60	(1) 49	30	(1) 36	(1) 28	77	65	31	19	(5) 406		
構 成 率 (%)	2.0	0.5	0.2	14.8	12.1	7.4	8.9	6.9	19.0	16.0	7.6	4.7		100.0	
全事故構成率 (%)	1.2	0.8	1.3	11.3	14.2	10.3	10.7	10.8	18.7	12.8	5.2	2.6			100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。



3 1 高速道路の事故

(1) 概 況

- ・ 高速道路の事故は、発生件数657件、死者数2人、負傷者数28人であった。
- ・ 前年に比べ、人身事故件数は前年と同じであったが、死者数は2人増加、物損事故件数は42件(6.0%)、負傷者数は11人(28.2%)減少した。

区分 年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	人身事故	物損事故	計	高 速	全事故	構成率(%)	高 速	全事故	構成率(%)
平成30年	25	632	657	2	54	3.7	28	3,300	0.8
平成29年	25	674	699	0	37	0.0	39	3,769	1.0
増 減 数	0	-42	-42	2	17		-11	-469	
増 減 率(%)	0.0	-6.2	-6.0	---	45.9		-28.2	-12.4	

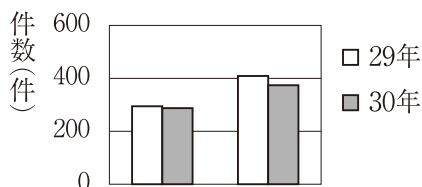
(2) 区間別件数

- ・ 区間別では、北陸自動車道の「砺波～小矢部」が81件(12.3%)と最も多く、次いで「小杉～砺波」が75件(11.4%)、「立山～富山」が55件(8.4%)の順となっている。

区間別 年別	北 陸 自 動 車 道											東海北陸自動車道		能 越 自 動 車 道										合 計
	県境～朝日部	朝日部～黒部津川	黒部津川～魚津	魚津～滑川	滑川～立山	立山～富山	富山～富山西	富山西～小杉	小杉～砺波	砺波～小矢部	小矢部～県境	県境～五箇山	五箇山～福光	福光～JCT	JCT～小矢部東	小矢部東～福岡	福岡～高岡	高岡～高岡北	高岡北～氷見南	氷見南～氷見	氷見～氷見北	氷見北～灘浦	灘浦～県境	
平成30年	28	21	31	39	31	55	49	40	75	81	37	5	38	18	3	12	21	22	17	20	5	4	5	657
構成率(%)	4.3	3.2	4.7	5.9	4.7	8.4	7.5	6.1	11.4	12.3	5.6	0.8	5.8	2.7	0.5	1.8	3.2	3.3	2.6	3.0	0.8	0.6	0.8	100.0
平成29年	28	35	35	52	29	43	41	33	86	96	53	8	37	24	5	9	22	22	13	9	3	5	11	699
構成率(%)	4.0	5.0	5.0	7.4	4.1	6.2	5.9	4.7	12.3	13.7	7.6	1.1	5.3	3.4	0.7	1.3	3.1	3.1	1.9	1.3	0.4	0.7	1.6	100.0
増 減 数	0	-14	-4	-13	2	12	8	7	-11	-15	-16	-3	1	-6	-2	3	-1	0	4	11	2	-1	-6	-42
増減率(%)	0.0	-40.0	-11.4	-25.0	6.9	27.9	19.5	21.2	-12.8	-15.6	-30.2	-37.5	2.7	-25.0	-40.0	33.3	-4.5	0.0	30.8	122.2	66.7	-20.0	-54.5	-6.0

(3) 第1当事者の居住地別件数

- ・ 県内運転者による事故が283件(43.1%)で、前年に比べ7件(2.4%)減少した。



居住地 年別	県内	県外	合計
平成30年	283	374	657
構成率(%)	43.1	56.9	100.0
平成29年	290	409	699
構成率(%)	41.5	58.5	100.0
増 減 数	-7	-35	-42
増 減 率(%)	-2.4	-8.6	-6.0

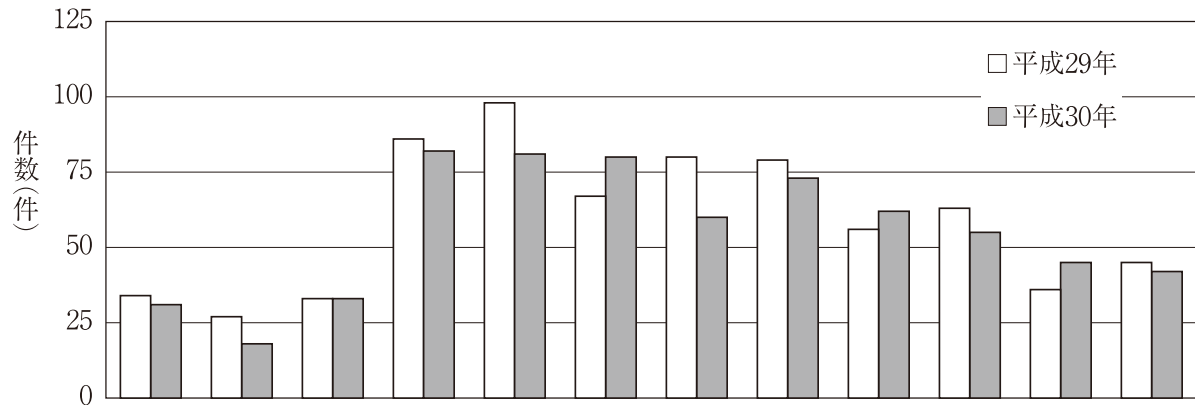
(4) 人身事故及び死亡事故の月別・昼夜別発生件数

- ・ 昼夜別では昼間の方が多く、毎月1件～5件の発生があった。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
		2	4	1	2		2		2	1	1		1	16
人身事故	夜間	1	1	1		2		1				1	2	9
	合計	3	5	2	2	2	2	1	2	1	1	1	3	25
死亡事故	昼間	1												1
	夜間							1						1
	合計	1						1						2

(5) 時間別件数

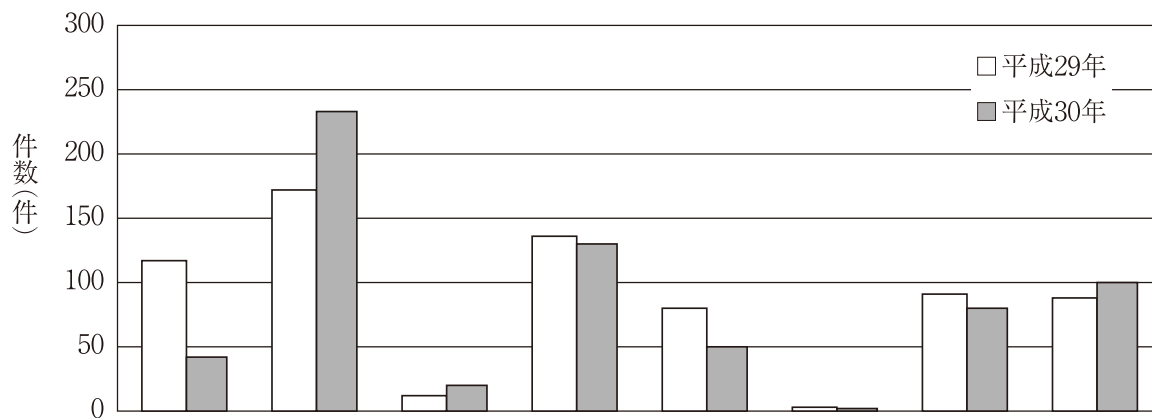
- ・ 時間別では、「6時～」が82件(12.5%)と最も多く、次いで「8時～」が81件(12.3%)、「10時～」が80件(12.2%)の順となっている。
- ・ 前年に比べ、「12時～」が20件(25.0%)、「8時～」が17件(17.3%)減少した。



時間別 年別	0時)	2時)	4時)	6時)	8時)	10時)	12時)	14時)	16時)	18時)	20時)	22時)	合 計
平成30年	31	18	33	82	81	80	60	73	62	55	45	37	657
構成率(%)	4.7	2.7	5.0	12.5	12.3	12.2	9.1	11.1	9.4	8.4	6.8	5.6	100.0
平成29年	34	27	33	86	98	67	80	79	56	63	36	40	699
構成率(%)	4.9	3.9	4.7	12.3	14.0	9.6	11.4	11.3	8.0	9.0	5.2	5.7	100.0
増減数	-3	-9	0	-4	-17	13	-20	-6	6	-8	9	-3	-42
増減率(%)	-8.8	-33.3	0.0	-4.7	-17.3	19.4	-25.0	-7.6	10.7	-12.7	25.0	-7.5	-6.0

(6) 違反別件数

- ・ 原因別では、「前方不注意」が233件(35.5%)と最も多く、次いで「操作不適(ハンドル)」が130件(19.8%)、「安全不確認」が80件(12.2%)の順となっている。
- ・ なお、「速度」については、気象条件、規制速度に対しての速度の出し過ぎを含む。



違反別 年別	速 度	前 不 注 意	過 労 運 転	操 作 不 適		車 間 距 離 不 保 持	安 全 不 確 認	そ の 他 明 不	合 計
				ハ ン ド ル	ブ レ ー キ				
平成30年	42	233	20	130	50	2	80	100	657
構成率(%)	6.4	35.5	3.0	19.8	7.6	0.3	12.2	15.2	100.0
平成29年	117	172	12	136	80	3	91	88	699
構成率(%)	16.7	24.6	1.7	19.5	11.4	0.4	13.0	12.6	100.0
増減数	-75	61	8	-6	-30	-1	-11	12	-42
増減率(%)	-64.1	35.5	66.7	-4.4	-37.5	-33.3	-12.1	13.6	-6.0

3 2 飲酒運転事故

(1) 概 況

- ・ 飲酒運転による事故は、発生件数34件(1.2%)、死者数1人(1.9%)、負傷者数42人(1.3%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は3件(8.1%)、死者数は2人(66.7%)、負傷者数は1人(2.3%)減少した。

区分 年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	飲 酒	全事故	構成率(%)	飲 酒	全事故	構成率(%)	飲 酒	全事故	構成率(%)
平 成 30 年	34	2,839	1.2	1	54	1.9	42	3,300	1.3
平 成 29 年	37	3,238	1.1	3	37	8.1	43	3,769	1.1
増 減 数	-3	-399		-2	17		-1	-469	
増 減 率 (%)	-8.1	-12.3		-66.7	45.9		-2.3	-12.4	

注： 件数は、第1当事者(第一種原動機付自転車以上の車両)が飲酒していた事故で、死者数・負傷者数はその事故による死傷者をいう。

(2) 月別発生状況

- ・ 月別では、「12月」が6件(20.0%)と最も多く、次いで「4月」が5件(14.7%)、「2月」及び「3月」が各4件(11.8%)の順となっている。

区分 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平 成 30 年	3	4	4	5	1	1	(1) 2	2	3	2	1	6	(1) 34
平 成 29 年	3	4	1	2	(1) 3	(1) 4	5	(1) 4		2	4	5	(3) 37
増 減 数	0	0	3	3	(-1) -2	(-1) -3	(1) -3	(-1) -2	3	0	-3	1	(-2) -3
増 減 率 (%)	0.0	0.0	300.0	150.0	-66.7	-75.0	-60.0	-50.0	---	0.0	-75.0	20.0	-8.1
平成30年構成率	8.8	11.8	11.8	14.7	2.9	2.9	5.9	5.9	8.8	5.9	2.9	17.6	100.0
平成30年死傷者数	3	4	5	10	1	2	(1) 2	2	3	2	1	8	(1) 43

注：()内は、死亡事故、死者数(内数)である。

(3) 曜日別・時間別件数

- ・ 曜日別では、「日曜日」が9件と最も多く、次いで「木曜日」が7件の順となっている。
なお、死亡事故は「木曜日」に発生した。
- ・ 時間別では、「0時～」が6件(17.6%)と最も多く、次いで「14時～」及び「18時～」が各5件(14.7%)の順となっている。

曜日別 時間別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計	構成率 (%)
0 時 ～	2	1		1	1	1		6	17.6
2 時 ～	2			1				3	8.8
4 時 ～	1						1	2	5.9
6 時 ～				1		1	1	3	8.8
8 時 ～		1						1	2.9
10 時 ～							1	1	2.9
12 時 ～	2							2	5.9
14 時 ～		1	1		(1) 3			(1) 5	14.7
16 時 ～		1	1					2	5.9
18 時 ～	1			1	3			5	14.7
20 時 ～									
22 時 ～	1			1			2	4	11.8
合 計	9	4	2	5	(1) 7	2	5	(1) 34	100.0

注：()内は、死亡事故件数(内数)である。

(4) 年齢層別・飲酒運転動機別

- ・ 年齢層別では、「16～24歳」が10件(29.4%)、「50～59歳」が8件(23.5%)となっている。
- ・ 飲酒運転の動機別では、「事故を起こさなかった」と16件と最も多い。

年齢層別 飲酒運転の動機		16～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合 計
他に乗り物がない					1			1
翌日の出勤等に困る								
少ししか飲んでいない		2			1		1	4
酔いを覚ました		1						1
車を置いていくのが不安								
自宅までわずか								
取締りにあわなかったと思った		1		2		1	1	5
事故を起こさなかったと思った		4			3	5	4	16
その他		2	1		1	2	1	7
合 計		10	1	2	6	8	7	34
構成率(%)		29.4	2.9	5.9	17.6	23.5	20.6	100.0

(5) 事故類型別件数

- ・ 類型別では、「車両相互」が26件(76.5%)と最も多く、次いで「車両単独」が4件(11.8%)の順となっている。
- ・ 事故形態別では、車両相互の「追突」が9件(34.6%)と最も多く、次いで「出会い頭」が6件(23.1%)であった。
- ・ 死亡事故は、車両単独の「工作物」1件であった。

区分 事故類型別		件 数	死者数	負傷者数	区分 事故類型別		件 数	死者数	負傷者数
人 対 車 両	対 面 通 行 中				車 両 相 互	正 面 衝 突	5		5
	背 面 通 行 中					追 突	9		12
	横断中	横断歩道	2	2		出 会 い 頭	6		8
		ク 付 近				追 越 追 抜 時			
		そ の 他				す れ 違 い 時			
	路上遊戯・作業中					右・左折時	4		4
	路上停止中					そ の 他	2		5
	そ の 他	1		1		小 計	26		34
小 計		3		3	車 両 単 独	工 作 物			
自 転 車 対 車 両	正 面 衝 突					電柱・標識等			
	追 突	1		1		その他工作物	3	1	3
	出 会 い 頭					駐 車 車 両 衝 突			
	追 越 追 抜 時					路 外 逸 脱	1		1
	す れ 違 い 時					転 倒			
	右・左折時					そ の 他			
	そ の 他					小 計	4	1	4
小 計		1		1	列 車				
					合 計		34	1	42

3 3 ひき逃げ事故

(1) 概 況

- ・ ひき逃げ事故は、発生件数が58件で、前年に比べ6件(9.4%)減少した。

区分 年別	事 故 総 数			死 亡			重 傷			軽 傷		
	発 生	検 挙	検挙率(%)	発 生	検 挙	検挙率(%)	発 生	検 挙	検挙率(%)	発 生	検 挙	検挙率(%)
平成30年	58	43	74.1	2	2	100.0	8	6	75.0	48	35	72.9
平成29年	64	42	65.6	1	1	100.0	10	8	80.0	53	33	62.3
増 減 数	-6	1		1	1		-2	-2		-5	2	
増減率(%)	-9.4	2.4					-20.0	-25.0		-9.4	6.1	

(2) 年別推移

- ・ ひき逃げ事故の検挙件数は43件(検挙率は74.1%)で、前年に比べ8.5ポイント上回った。

区分 年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
発 生 件 数	41	52	49	50	64	58
検 挙 件 数	31	35	35	31	42	43
検 挙 率 (%)	75.6	67.3	71.4	62.0	65.6	74.1

(3) 事故類型別件数

- ・ 車両相互の「追突」が17件(29.3%)と最も多く、次いで「人対車両」が12件(20.7%)の順となっている。

区分 年別	人 対 車 両				自 転 車 対 車 両					車 両 相 互					車 両 単 独	合 計
	右側 通行中	横 断中	そ の 他	計	左側 通行中	横 断中	出 会 い 頭	そ の 他	計	正面 衝突	出 会 い 頭	そ の 他	追 突	計		
平成30年	2	3	7	12	3		1	2	6		9	13	17	39	1	58
構成率(%)	3.4	5.2	12.1	20.7	5.2		1.7	3.4	10.3		15.5	22.4	29.3	67.2	1.7	100.0
平成29年	1	6	7	14	1		3	5	9	1	11	13	16	41		64
構成率(%)	1.6	9.4	10.9	21.9	1.6		4.7	7.8	14.1	1.6	17.2	20.3	25.0	64.1		100.0
増 減 数	1	-3	0	-2	2	0	-2	-3	-3	-1	-2	0	1	-2	1	-6

(4) 時間別件数

- ・ 時間別では、「16時～」が10件(17.2%)と最も多い。

時間別 年別	0時 ～	2時 ～	4時 ～	6時 ～	8時 ～	10時 ～	12時 ～	14時 ～	16時 ～	18時 ～	20時 ～	22時 ～	合 計
平成30年	3	2	3	8	7	4	5	3	10	3	5	5	58
構成率(%)	5.2	3.4	5.2	13.8	12.1	6.9	8.6	5.2	17.2	5.2	8.6	8.6	100.0
平成29年	4		2	12	5	6	7	6	5	12	3	2	64
構成率(%)	6.3	0.0	3.1	18.8	7.8	9.4	10.9	9.4	7.8	18.8	4.7	3.1	100.0
増 減 数	-1	2	1	-4	2	-2	-2	-3	5	-9	2	3	-6

3 4 外国人の事故

(1) 概 況

- ・ 外国人(外国籍を有する者)の事故は、発生件数77件(2.7%)、死者数1人(1.9%)、負傷者数57人(1.7%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は8件(9.4%)減少し、負傷者数は6人(11.8%)増加した。

年別	区分	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
		外国人	全事故	構成率(%)	外国人	全事故	構成率(%)	外国人	全事故	構成率(%)
平 成 3 0 年		77	2,839	2.7	1	54	1.9	57	3,300	1.7
平 成 2 9 年		85	3,238	2.6	1	37	2.7	51	3,769	1.4
増 減 数		-8	-399		0	17		6	-469	
増 減 率 (%)		-9.4	-12.3		0.0	45.9		11.8	-12.4	

注：1 件数は、外国人が第1当事者又は第2当事者の事故件数を計上した。

(外国人相互の事故が平成29年に2件発生した。)

2 死者数・負傷者数は、外国人の死傷者数を計上した。

(2) 国 籍 別

- ・ 「ブラジル」の当事者が20件(26.0%)、次いで「中国(除く台湾)」が19件(24.7%)の順となっている。

国籍別	区分	当 事 者 別 件 数				死 傷 者 別 人 数			
		第1当	第2当	計	構成率(%)	死者数	負傷者数	計	構成率(%)
韓 国 ・ 朝 鮮		5	3	8	10.4		4	4	6.9
中 国 (除 く 台 湾)		13	6	19	24.7		10	10	17.2
フ ィ リ ピ ン		4	7	11	14.3		11	11	19.0
イ ン ド									
タ イ									
ス リ ラ ン カ									
バ キ ス タ ン		6		6	7.8	1	1	2	3.4
バ ン グ ラ デ シ ュ									
そ の 他 ア ジ ア の 国		5	3	8	10.4		5	5	8.6
ア メ リ カ			1	1	1.3		1	1	1.7
そ の 他 北 ア メ リ カ									
そ の 他 ア メ リ カ									
ブ ラ ジ ル		8	12	20	26.0		19	19	32.8
バ ラ グ ア イ			1	1	1.3		1	1	1.7
イ タ リ ア									
ロ シ ア			2	2	2.6		4	4	6.9
そ の 他 ヨ ー ロ ッ パ			1	1	1.3		1	1	1.7
オ ー ス ト ラ リ ア									
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド									
そ の 他									
合 計		41	36	77	100.0	1	57	58	100.0

(3) 違反別件数

- ・ 第1当事者では、「前方不注意」が11件(26.8%)と最も多く、次いで「動静不注視」が10件(24.4%)の順となっている。

違反別	区分	平 成 3 0 年				平 成 2 9 年				全 事 故 構成率(%)
		第1当	第2当	計	第1当 構成率(%)	第1当	第2当	計	第1当 構成率(%)	
車	信 号 無 視	3	1	4	7.3	5	1	6	11.1	4.5
	通 行 区 分					1	2	3	2.2	1.4
	最 高 速 度									0.1
	優 先 通 行 妨 害 等	1		1	2.4					4.0
	交差点安全進行義務違反		9	9			7	7		2.7
	歩 行 者 妨 害 等									3.5
	右 折 方 法 等 違 反									0.3
	徐 行 場 所 違 反		1	1		1		1	2.2	0.6
	指 定 場 所 一 時 不 停 止 等	6		6	14.6	14		14	31.1	12.5
	安全運転義務違反	4		4	9.8	3		3	6.7	7.3
両	前 方 不 注 意	11		11	26.8	4		4	8.9	24.6
	動 静 不 注 視	10	3	13	24.4	6	5	11	13.3	14.4
	安 全 不 確 認	3	1	4	7.3	9	7	16	20.0	17.0
	安 全 速 度	1	2	3	2.4					1.9
	そ の 他	1	1	2	2.4					1.2
	そ の 他	1		1	2.4	2		2	4.4	3.6
小	違 反 な し		14	14			16	16		
	小 計	41	32	73	100.0	45	38	83	100.0	99.6
	違 反 な し		3	3			1	1		0.4
歩行者	違 反 な し		1	1			3	3		
	小 計		4	4			4	4		0.4
合 計		41	36	77	100.0	45	42	87	100.0	100.0

3 5 安全運転管理者選任事業所従業員の事故

(1) 概 況

- ・ 安全運転管理者選任事業所の従業員による事故は、発生件数193件(6.8%)、死者数3人(5.6%)、負傷者数222人(6.7%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は42件(17.9%)、死者数は1人(25.0%)、負傷者数は40人(15.3%)減少した。

区分 年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	安 管	全事故	構成率(%)	安 管	全事故	構成率(%)	安 管	全事故	構成率(%)
平 成 30 年	193	2,839	6.8	3	54	5.6	222	3,300	6.7
平 成 29 年	235	3,238	7.3	4	37	10.8	262	3,769	7.0
増 減 数	-42	-399		-1	17		-40	-469	
増 減 率 (%)	-17.9	-12.3		-25.0	45.9		-15.3	-12.4	

(2) 月別発生状況

- ・ 月別では、「2月」が30件(15.5%)と最も多く、次いで「1月」及び「10月」が各21件(10.9%)の順となっている。

区分 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数	21	30	15	19	8	15	11	14	10	21	16	13	193
死 者 数	1				1	1							3
負 傷 者 数	21	35	17	24	9	15	12	19	12	25	18	15	222
件数の構成率(%)	10.9	15.5	7.8	9.8	4.1	7.8	5.7	7.3	5.2	10.9	8.3	6.7	100.0

(3) 事故類型別件数

- ・ 「業務中」の事故が75件(38.9%)、「通勤中」の事故が118件(61.1%)であった。
- ・ 事故類型別では、「車両相互」が152件(78.8%)と最も多く、次いで「人対車両」が21件(10.9%)、「自転車対車両」が17件(8.8%)、「車両単独」が3件(1.6%)の順となっている。

区分 事故類型別	業 務 中			通 勤 中			合計	構成率 (%)	平成28年	構成率 (%)
	職業運転	業務運転	計	出 勤	退 勤	計				
人 対 車 両	5	4	9	4	8	12	21	10.9	27	11.5
自転車対車両		5	5	7	5	12	17	8.8	27	11.5
車 両 相 互	13	46	59	51	42	93	152	78.8	177	75.3
車 両 単 独	1	1	2	1		1	3	1.6	4	1.7
列 車										
合 計	19	56	75	63	55	118	193	100.0	235	100.0
構 成 率 (%)	9.8	29.0	38.9	32.6	28.5	61.1	100.0			
平 成 29 年	19	66	85	70	80	150	235	100.0		
構 成 率 (%)	8.1	28.1	36.2	29.8	34.0	63.8	100.0			

注：1 「職業運転」とは、会社等で配達など専ら運転に従事中をいう。

2 「業務運転」とは、セールス・商談・現場への往復等、業務遂行のための運転中をいう。

(4) 違反別件数

- ・違反別では、「前方不注意」が53件(27.5%)と最も多く、次いで「動静不注視」及び「安全不確認」が各35件(18.1%)の順となっている。

違反別		業 務 中			通 勤 中			合 計	構成率(%)
		職業運転	業務運転	計	出 勤	退 勤	計		
信 号 無 視			1	1	3	3	6	7	3.6
通 行 区 分		1	2	3	1	1	2	5	2.6
最 高 速 度 違 反									
追 越 し 違 反					1		1	1	0.5
優 先 通 行 妨 害 等			4	4	3	2	5	9	4.7
交差点安全進行義務違反					3	1	4	4	2.1
歩 行 者 妨 害 等		1	1	2	1	3	4	6	3.1
横断自転車妨害等									
徐 行 場 所 違 反					1		1	1	0.5
指定場所一時不停止等		2	3	5	5	3	8	13	6.7
酒 酔 い 運 転									
安全運転義務違反	ハンドル等操作不適	2	4	6	5	1	6	12	6.2
	前 方 不 注 意	3	12	15	18	20	38	53	27.5
	動 静 不 注 視	2	11	13	11	11	22	35	18.1
	安 全 不 確 認	5	14	19	7	9	16	35	18.1
	安 全 速 度		2	2	2	1	3	5	2.6
	予 測 不 適								
	そ の 他	1		1				1	0.5
小 計		13	43	56	43	42	85	141	73.1
そ の 他		2	2	4	2		2	6	3.1
合 計		19	56	75	63	55	118	193	100.0

(5) 曜日別・時間別件数

- ・曜日別では、「木曜日」が37件(19.2%)と最も多く、次いで「水曜日」が35件(18.1%)、「火曜日」が33件(17.1%)の順となっている。
- ・時間別では、「8時～」が37件(19.2%)と最も多く、次いで「6時～」及び「18時～」が各30件(15.5%)の順となっている。

曜日別 時間別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計	構成率(%)
0 時 ～	1		1	2			2	6	3.1
2 時 ～	2						2	4	2.1
4 時 ～	1	1	1			2	1	6	3.1
6 時 ～	1	6	6	6	7	3	1	30	15.5
8 時 ～	1	8	7	6	7	7	1	37	19.2
10 時 ～	2	1	2	3	2	3	1	14	7.3
12 時 ～		1	2	2	3	3		11	5.7
14 時 ～	1	4	1	2	6	1	1	16	8.3
16 時 ～	2	2	2	5	6	7	2	26	13.5
18 時 ～		5	8	7	3	5	2	30	15.5
20 時 ～		1	1	2	2		2	8	4.1
22 時 ～		1	2		1	1		5	2.6
合 計	11	30	33	35	37	32	15	193	100.0
構成率(%)	5.7	15.5	17.1	18.1	19.2	16.6	7.8	100.0	

3 6 運行管理者選任事業所従業員の事故

(1) 概 況

- ・ 運行管理者選任事業所の従業員による事故は、発生件数97件(3.4%)、死者数3人(5.6%)、負傷者数114人(3.5%)であった。
- ・ 前年に比べ、件数は13件(15.5%)、死者数は2人(200.0%)、負傷者数は7人(6.5%)増加した。

区分 年別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	運 管	全事故	構成率(%)	運 管	全事故	構成率(%)	運 管	全事故	構成率(%)
平成30年	97	2,839	3.4	3	54	5.6	114	3,300	3.5
平成29年	84	3,238	2.6	1	37	2.7	107	3,769	2.8
増 減 数	13	-399		2	17		7	-469	
増 減 率 (%)	15.5	-12.3		200.0	45.9		6.5	-12.4	

(2) 月別発生状況

- ・ 月別では、「2月」及び「12月」が各12件(12.4%)と最も多い。

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件 数	9	12	7	5	9	9	9	2	5	9	9	12	97
死 者 数			1									2	3
負 傷 者 数	9	13	8	5	10	13	14	2	9	10	11	10	114
件数の構成率(%)	9.3	12.4	7.2	5.2	9.3	9.3	9.3	2.1	5.2	9.3	9.3	12.4	100.0

(3) 事故類型別件数

- ・ 「業務中」の事故が89件(91.8%)、「通勤中」の事故が8件(8.2%)であった。
- ・ 事故類型別では、「車両相互」が78件(80.4%)と最も多く、次いで「人対車両」が8件(8.2%)、「車両単独」が6件(6.2%)の順となっている。

区分 事故類型別	業 務 中			通 勤 中			合計	構成率 (%)	平成29年	構成率 (%)
	職業運転	業務運転	計	出 勤	退 勤	計				
人 対 車 両	6		6	2		2	8	8.2	9	10.7
自転車対車両	4	1	5				5	5.2	4	4.8
車 両 相 互	63	9	72	3	3	6	78	80.4	68	81.0
車 両 単 独	6		6				6	6.2	3	3.6
列 車										
合 計	79	10	89	5	3	8	97	100.0	84	100.0
構 成 率 (%)	81.4	10.3	91.8	5.2	3.1	8.2	100.0			
平成29年	67	11	78	5	1	6	84	100.0		
構 成 率 (%)	79.8	13.1	92.9	6.0	1.2	7.1	100.0			

注：1 「職業運転」とは、会社等で配達など専ら運転に従事中をいう。

2 「業務運転」とは、セールス・商談・現場への往復等、業務遂行のための運転中をいう。

(4) 違反別件数

- ・違反別では、「前方不注意」が37件(38.1%)と最も多く、次いで「安全不確認」が19件(19.6%)、「動静不注意」が10件(10.3%)の順となっている。

違反別		業 務 中			通 勤 中			合 計	構成率(%)
		職業運転	業務運転	計	出 勤	退 勤	計		
信 号 無 視		6		6	1		1	7	7.2
通 行 禁 止 違 反									
通 行 区 分									
最 高 速 度 違 反									
優 先 通 行 妨 害 等						1	1	1	1.0
交差点安全進行義務違反		1	1	2				2	2.1
歩 行 者 妨 害 等		2		2				2	2.1
横 断 自 転 車 妨 害									
徐 行 場 所 違 反									
指定場所一時不停止等		3	3	6				6	6.2
整備不良車両運転		1		1				1	1.0
安全運転義務違反	ハンドル等操作不適	2		2	1		1	3	3.1
	前 方 不 注 意	32	3	35	1	1	2	37	38.1
	動 静 不 注 視	9		9	1		1	10	10.3
	安 全 不 確 認	15	3	18	1		1	19	19.6
	安 全 速 度	1		1		1	1	2	2.1
	予 測 不 適								
	そ の 他	3		3				3	3.1
小 計		62	6	68	4	2	6	74	76.3
そ の 他		4		4				4	4.1
合 計		79	10	89	5	3	8	97	100.0

(5) 曜日別・時間別件数

- ・曜日別では、「木曜日」が23件(23.7%)と最も多く、次いで「月曜日」が17件(17.5%)の順となっている。
- ・時間別では、「6時～」が21件(21.6%)と最も多く、次いで「8時～」が15件(15.5%)、「10時～」及び「12時～」が各11件(11.3%)の順となっている。

曜日別 時間別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計	構成率(%)
0 時 ～	1		1		1			3	3.1
2 時 ～		1						1	1.0
4 時 ～			2		2		2	6	6.2
6 時 ～	1	2	6	5	4	1	2	21	21.6
8 時 ～	2	5		1	5	1	1	15	15.5
10 時 ～	1	1	1	2	3	1	2	11	11.3
12 時 ～		1	1	3	3	3		11	11.3
14 時 ～	1	2	2	2		1		8	8.2
16 時 ～	1	1	1		4	2	1	10	10.3
18 時 ～		1			1			2	2.1
20 時 ～	1						1	2	2.1
22 時 ～		3		2		2		7	7.2
合 計	8	17	14	15	23	11	9	97	100.0
構成率(%)	8.2	17.5	14.4	15.5	23.7	11.3	9.3	100.0	

3 7 事業用自動車の事故

(1) 概 況

- ・ 事業用自動車の事故は102件で、死者数3人、負傷者数122人であった。
- ・ 前年に比べ、件数は4件(3.8%)、負傷者数は14人(10.3%)減少したが、死者数は2人(200.0%)増加した。

年 別	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	事業用	全事故	構成率(%)	事業用	全事故	構成率(%)	事業用	全事故	構成率(%)
平成30年	102	2,839	3.6	3	54	5.6	122	3,300	3.7
平成29年	106	3,238	3.3	1	37	2.7	136	3,769	3.6
増減数	-4	-399		2	17		-14	-469	
増減率(%)	-3.8	-12.3		200.0	45.9		-10.3	-12.4	

(2) 事故類型別件数

- ・ 「車両相互」が81件(79.4%)と最も多く、次いで「人対車両」及び「車両単独」が各8件(7.8%)の順となっている。

区 分		路線・貸切バス	タクシー	事業用乗用車	事業用貨物車	合 計
事故類型別						
人 対 車 両			4		4	8
自 転 車 対 車 両		2			3	5
車 両 相 互		2	7		72	81
	うち正面衝突				1	1
	うち追突	2	3		43	48
	うち出会い頭		3		14	17
	うちその他		1		14	15
車 両 単 独		6	1		1	8
30年	件 数	10	12		80	102
	死 者 数				3	3
	負 傷 者 数	15	15		92	122
29年	件 数	2	17		87	106
	死 者 数				1	1
	負 傷 者 数	2	20		114	136

(3) 路線別件数

- ・ 「国道」が41件(40.2%)と最も多く、次いで「主要地方道」が18件(17.6%)の順となっている。

区 分		路線・貸切バス	タクシー	事業用乗用車	事業用貨物車	合 計
路線別						
高 速 道	道	1			9	10
	道	2	3		36	41
主 要 地 方 道		2	1		15	18
一 般 県 道		2	2		9	13
市 町 村 道		2	5		9	16
そ の 他 の 道 等		1	1		2	4
合 計		10	12		80	102

(4) 違反別件数

- ・ 「前方不注意(脇見)」が24件(23.5%)と最も多く、次いで「安全不確認」が18件(17.6%)、「前方不注意(漫然)」が13件(12.7%)の順となっている。

区 分		路線・貸切バス	タクシー	事業用乗用車	事業用貨物車	合 計
違反別						
信 号 無 視					7	7
通 行 区 分 違 反						
最 高 速 度 違 反						
優 先 通 行 妨 害 等			1			1
交差点安全進行義務違反					2	2
歩 行 者 妨 害 等			1		2	3
横断自転車妨害等						
徐 行 場 所 違 反						
指定場所一時不停止等			2		6	8
安全運転義務違反	ハンドル等操作不適	1			2	3
	前方不注意(漫然)	1	1		11	13
	〃 (脇見)		4		20	24
	動 静 不 注 視	1	1		10	12
	安 全 不 確 認	2	2		14	18
	安 全 速 度				1	1
	そ の 他	4				4
そ の 他		1			5	6
合 計		10	12		80	102

38 ダンプカーの事故

(1) 概 況

- ・ ダンプカーの事故は、前年に比べ件数、負傷者数は増加し、死者数は減少した。

比較	区 分	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
		ダンプカー	全事故	構成率(%)	ダンプカー	全事故	構成率(%)	ダンプカー	全事故	構成率(%)
平 成 30 年		18	2,839	0.6	0	54	0.0	25	3,300	0.8
平 成 29 年		17	3,238	6.0	1	37		16	3,769	0.4
増 減 数		1	-399		-1	17		9	-469	
増 減 率 (%)		5.9	-12.3		-100.0	45.9		56.3	-12.4	

注：「ダンプカー」とは、荷台を傾けて積んでいる土砂等を降ろす機構を有する貨物自動車进行。

(2) 事故類型別件数

- ・ 事故類型別では、「車両相互」が17件(94.4%)と大半を占めている。

事故類型別		平 成 30 年				平 成 29 年		増減数	増減率(%)	全事故 構成率(%)
		件 数	死者数	負傷者数	構成率(%)	件 数	構成率(%)			
人 対 車 両	横 断 中					1	5.9	-1	-100.0	6.2
	そ の 他									4.1
自 転 車 対 車 両	追 突									0.3
	出 会 い 頭									5.6
	追越・すれ違い時									0.4
	そ の 他					1	5.9	-1	-100.0	3.5
車 両 相 互	正 面 衝 突									3.1
	追 突	12		18	66.7	7	41.2	5	71.4	41.5
	出 会 い 頭	3		4	16.7	7	41.2	-4	-57.1	21.1
	追越・すれ違い時					1	5.9	-1	-100.0	1.3
	左 折 時	1		1	5.6			1	0.0	0.5
	右 折 時									4.6
車 単 独	そ の 他	1		1	5.6			1	0.0	5.5
	工 作 物 衝 突	1		1	5.6			1	0.0	1.2
	路 外 逸 脱									0.6
列 車	そ の 他									0.6
										0.0
合 計		18	0	25	100.0	17	100.0	1	5.9	100.0

(3) 違反別件数

- ・ 違反別では、「前方不注意(漫然)」及び「前方不注意(脇見)」が各4件(22.2%)と最も多い。

違反別		平 成 30 年				平 成 29 年		増減数	増減率(%)
		件 数	死者数	負傷者数	構成率(%)	件 数	構成率(%)		
信 号 無 視						1	5.9	-1	-100.0
最 高 速 度 違 反									
横 断 等 禁 止 違 反									
車 間 距 離 不 保 持									
右折違反(交差点右折方法等)									
左折違反(交差点左折方法等)									
優 先 通 行 妨 害 等						1	5.9	-1	-100.0
交差点安全進行義務違反						1	5.9	-1	-100.0
横断歩行者妨害等(通行妨害)									
横断自転車妨害等									
徐 行 場 所 違 反									
指定場所一時不停止等		1		1	5.6	2	11.8	-1	-50.0
積 載 不 適 当									
酒 酔 い 運 転									
安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	1		1	5.6			1	0.0
	ブ レ ー キ 操 作 不 適					1	5.9	-1	-100.0
	前 方 不 注 意 (漫 然)	4		5	22.2	2	11.8	2	100.0
	〃 (脇 見)	4		7	22.2	4	23.5	0	0.0
	動 静 不 注 視	3		5	16.7	2	11.8	1	50.0
	安 全 不 確 認 (前 方・左 右)	2		3	11.1	3	17.6	-1	-33.3
	〃 (後 方)	2		2	11.1			2	0.0
	安 全 速 度 予 測 不 適	1		1	5.6			1	0.0
そ の 他									
合 計		18		25	100.0	17	100.0	1	5.9

3 9 携帯電話に起因した事故

(1) 概 況

- ・ 携帯電話に起因した事故は37件で、前年に比べ8件(27.6%)増加した。
- ・ 事故類型別では「追突事故」が28件(75.7%)、道路形状別では「単路」が18件(48.6%)と最も多くなっている。

比較	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	携帯	全事故	構成率(%)	携帯	全事故	構成率(%)	携帯	全事故	構成率(%)
平成30年	37	2,839	1.3	1	54	1.9	47	3,300	1.4
平成29年	29	3,238	0.9		37		34	3,769	0.9
増減数	8	-399		1	17		13	-469	
増減率(%)	27.6	-12.3		---	45.9		38.2	-12.4	
参考：過去の携帯事故		年 別	件 数	死者数	負傷者数	年 別	件 数	死者数	負傷者数
		平成25年	38		45	平成27年	35		54
		平成26年	53	1	65	平成28年	48	1	56

注： 件数は第1当事者(自動車、原付、路面電車、軽車両)の携帯電話等の使用等が要因となって発生した事故で、死者数・負傷者数はその事故による死傷者をいう。

(2) 月別件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数	3	5	5	5	2	2	4		2	4	3	2	37
構成率(%)	8.1	13.5	13.5	13.5	5.4	5.4	10.8		5.4	10.8	8.1	5.4	100.0

(3) 使用状況別件数

	使用 中(事故要因あり)				合 計
	通話目的	画像目的	ハンズフリー	そ の 他	
件 数	3	28	1	5	37
構成率(%)	8.1	75.7	2.7	13.5	100.0

(4) 事故類型別件数

	人対車両	自転車 対車両	車 両 相 互						車両単独	合 計
			正面衝突	追突	出会い頭	左折時	右折時	その他		
件 数	3			28	4			2		37
構成率(%)	8.1			75.7	10.8			5.4		100.0

(5) 道路形状別件数

	交 差 点		交差点付近		単 路		その他の 場所	合 計
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし	カーブ	その他		
件 数	4	3	7	4	1	17	1	37
構成率(%)	10.8	8.1	18.9	10.8	2.7	45.9	2.7	100.0

(6) 時間別件数

	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	
件 数	2			3	3	4	
構成率(%)	5.4			8.1	8.1	10.8	
	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	合 計
件 数	3	5	8	7	1	1	37
構成率(%)	8.1	13.5	21.6	18.9	2.7	2.7	100.0

(7) 車種別件数

	乗 用 車				貨 物 車				その他	合 計
	大型	中型	普通	軽四	大型	中型	普通	軽四		
件 数			19	10	1	2	5			37
構成率(%)			51.4	27.0	2.7	5.4	13.5			100.0

(8) 年齢層別・性別件数

	15歳以下	16～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計
男 性		9	3	4	4	3	1		1	25
女 性		5		2	3	2				12
合 計		14	3	6	7	5	1		1	37
構成率(%)		37.8	8.1	16.2	18.9	13.5	2.7		2.7	100.0

4 0 カーナビに起因した事故

(1) 概 況

- ・ カーナビに起因した事故は45件で、前年に比べ10件(28.6%)増加した。
- ・ 事故類型別では「追突事故」が29件(64.4%)と最も多く、性別では「男性」が多い。

比較	件 数			死 者 数			負 傷 者 数		
	カーナビ	全事故	構成率(%)	カーナビ	全事故	構成率(%)	カーナビ	全事故	構成率(%)
平成30年	45	2,839	1.6	2	54	3.7	53	3,300	1.6
平成29年	35	3,238	1.1	2	37	5.4	42	3,769	1.1
増減数	10	-399			17		11	-469	
増減率(%)	28.6	-12.3			45.9		26.2	-12.4	
参考：過去のカーナビ事故	年 別	件 数	死 者 数	負傷者数	年 別	件 数	死 者 数	負傷者数	
	平成25年	30		37	平成27年	51		61	
	平成26年	47		61	平成28年	51		62	

注： 件数は第1当事者(自動車、原付、路面電車、軽車両)のカーナビの使用等が要因となって発生した事故で、死者数・負傷者数はその事故による死傷者をいう。

(2) 月別件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数	3	2	4	6	4	6		4	5	3	5	3	45
構成率(%)	6.7	4.4	8.9	13.3	8.9	13.3		8.9	11.1	6.7	11.1	6.7	100.0

(3) 使用状況別件数

	使用 中(事故要因あり)		合 計
	注 視 中	操 作 中 等	
件 数	41	4	45
構成率(%)	91.1	8.9	100.0

(4) 事故類型別件数

	人対車両	自転車 対車両	車 両 相 互						車両単独	合 計
			正面衝突	追突	出会い頭	左折時	右折時	その他		
件 数	4	1	3	29	6		1		1	45
構成率(%)	8.9	2.2	6.7	64.4	13.3		2.2		2.2	100.0

(5) 道路形状別件数

	交 差 点		交差点付近		単 路		その他の 場所	合 計
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし	カーブ	その他		
件 数	7	5	5	3	1	24		45
構成率(%)	15.6	11.1	11.1	6.7	2.2	53.3		100.0

(6) 時間別件数

	0時～	2時～	4時～	6時～	8時～	10時～	合 計
件 数				3	6	3	
構成率(%)				6.7	13.3	6.7	
	12時～	14時～	16時～	18時～	20時～	22時～	合 計
件 数	2	5	13	9	2	2	
構成率(%)	4.4	11.1	28.9	20.0	4.4	4.4	100.0

(7) 車種別件数

	乗 用 車				貨 物 車				その他	合 計
	大型	中型	普通	軽四	大型	準中型	普通	軽四		
件 数			29	13			2	1		45
構成率(%)			64.4	28.9			4.4	2.2		100.0

(8) 年齢層別・性別件数

	15歳以下	16～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計
男 性		6	3	6	5	5	2		2	29
女 性		4	5	1	4	1			1	16
合 計		10	8	7	9	6	2		3	45
構成率(%)		22.2	17.8	15.6	20.0	13.3	4.4		6.7	100.0

—— 交通安全年間スローガン ——

◎全 国

[運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの]

チャイルドシート ちいさなVIPの 指定席

[歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの]

危険だよ スマホに夢中の そこの君

[こども部門]

とび出さない いったんとまって みぎひだり

◎富山県（富山県交通対策協議会）

ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪